

聖徒の道



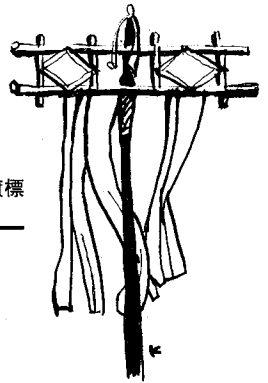
1962

8月号

末日聖徒イエス・キリスト教会

イスラエル十二支族の旗標

—— レビ ——



The Seito no Michi

August 1962 Volume 6, Number 8

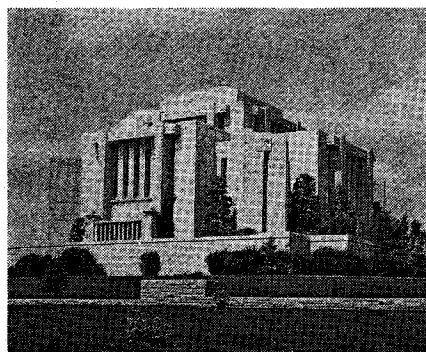
In this Issue

A Prophet's Voice: True Beauty.	President David O. McKay...451
President's Message: The Kingdom of God progressing.(EX) President Paul C. Andrus...455	
The Family of our New President, President Dwayne N. Andersen.....	458
Mormon Doctrine (32): The Book of Mormon. (1).....	Brother Tatsui Sato...460
Thanks to Ex President Paul C. Andrus' Family.....	Brother Masao Watabe...464
Branch News	469
Kanzawa, Fukuoka, Tokyo South, Kofu, Otaru, Niigata, Nishinomiya, Matsumoto, Yokohama.	
Cocoa, chocolate and "The Word of Wisdom" (Being Sensible and Factual).....	476
Conference Report (July)....East Central District.....	Brother Makoto Fukuda...478
Genealogy · Corret Method of Entering one's Name.....	Brother Masao Watabe...481
Aronic Priesthood: Branch Teaching Lesson (for August)	483
Church Articles	484
Sunday School Guide for J. S. S. Children (for September)	
Sunday School Guide (for September)	
MIA Leader (for September)	
Essentials in Church History (32)	President Joseph Fielding Smith...495
Relief Society Lessons	499
Theology—Work Meeting—Social Science—Visiting Teacher Messages	
Audio-Visual Teaching Materials	
Hymn Prac ice (for September)	506
Mission Headquarter News	507
GOSPEL IN ENGLISH (for Studying Gospel in English)	508

「聖徒の道」8月号

目 次

予言者のことば…真の美しさ……………大管長 デビド・O・マッケイ…	451
伝道部長メッセージ……………ポール・C・アンドラス…	455
新伝道部長アンダーセン長老の家族……………	458
モルモンの教義「モルモン経」(その一)……………佐 藤 竜 猪…	460
アンドラス伝道部長御一家への感謝……………渡 部 正 雄…	464
支部だより…金沢、福岡、東京南、甲府、小樽、新潟、西宮、松本、横浜……………	469
ココア、チョコレートと知恵の言葉…常識を使って実際のであれ……………	476
東中央地方部六月大会報告……………福 田 真…	478
系図…正しい姓名の記入法……………渡 部 正 雄…	481
アロン神権…ブランチティーチングレッスン…8月用……………	483
子供の日曜学校ガイド…………9月用……………	484
日曜学校ガイド…………9月用……………	486
MI Aリーダー…………9月用……………	490
末日聖徒イエス・キリスト教会歴史枠……………ジョセフ・フィールディング・スミス長老…	495
扶助協会レッスン……………	499
練習の讃美歌……………	506
伝道本部だより……………	507
EIGO NO FUKUIN……………	508



神殿を訪ねて ⑧
カナダ神殿

一九二三年八月二十六日 献堂
まだ開拓者であった多くの会員たちは、カナダのアルバータ州に定住していた。
教会はその人々のために神殿を建てようとして計画したのである。
この美しい神殿から広いカードストンの谷をみわたすことができる。そしてこの神殿は近代においてアメリカ合衆国より外に出た最初の神殿である。



予言者のことば

真の美しさ

大管長 デビド・O・マッケイ

イエス・キリストの教会は女性の地位をひととき尊敬している。この尊敬をうけるに値し、またその地位をつずけてたもつために、女性は現在も将来も、自らが人から愛され尊敬されるいろいろな美徳をつねに身につけていなければならない。この美徳が何であるかを知らうとするならば、すべての人はじぶんの母のことを考えるがよい。人は母のすがたをまぶたにえがいてみるときに、誰でも「美しくて貞淑な婦人は神の完全な創造物」であるとひとしく考えるにちがいない。

それであるから女の人は、美しさ、つつしみ深さ、誠実さ、同情、快活、敬けんそのほか多くのけだかい美徳、すなわち女性を高貴ならしめる動機となる、ひじょうにほめたたえ奨励すべき徳をなによらずその身につけていなければならない。このような婦人の微妙なやさしい感化の力は、人類の進歩と行くべきを決定するひじょうに有力な要素となるのである。

われわれは、体の美しさをまず努力を思いとまらせようとしてはいいない。生れながらに美しい体を与えられたなら、小児の時代にはこれを養い、青春の時代にはこれをたいせつにし、成人の時代にはこれをまもらなければならない。もしも生れながらに美しい体を与えられな

かなったら、人は美しい体をつくりあげるべきであるから、あらゆる正しい健全な方法をつくして努力をしなければならない。

しかしながら、あらゆる女性が一人のこらずもっている一つの美、すなわち太陽の光のように清く、生命のように神聖な一つの美がある。それはすべての男が愛する美、すべての男の心を勝ちとる美徳、すなわち貞淑という美である。

皮ひとえだけでない貞淑の美しさは心を燃え立たせるが、貞淑の徳の欠けた皮ひとえの美しさは目を燃え立たせるだけである。貞淑を内につんでいる真の女性らしさは、永遠にまことの愛を占めるにちがいない。

男性は女性の美にひきつけられ、その美しさに誘惑される男性はかざりなく居る。世の中には自分の感覚さえ喜ばせればよいと思っている男性が多いが、このような男はうわべの飾りだけに満足しているのであるから、うわべの飾りだけがこのような男をひきとめているにちがいない。それであるから、うわべの美しさが衰えてくると、このような男の心はほかへ移って行く。「美貌は唯皮ひとえのもの」であるが、うわべの飾りしかもっていない女の喚びおこす讚美は紙よりも薄い。

女性の力は男をけだかくもするし墮落させもする。嬰兒に生命を与える者、幼年時代から青年時代にかけて性格がきざみつけられてゆくとき、ゆつくりではあるがたえず力を及ぼしている者、一人前の男にけだかい大望を起させる者、あるいは失敗と墮落にさそいこむ者、家庭をこの上ない喜びの宿る所とする者、あるいは不平不満の巢くつとする者、最上^{きやう}の状態では人生にその最も楽しい希望とその最もすぐれた幸福とを与える者、これらはすべて女性

である。

私はさきに、貞淑はすべての男の愛する美德であると言った。私はこのことばをかえようとは思わない。貞淑を愛さない者は真の男ではないから、神の銀行へ送りかえされ、いやしい金属でつくった偽造貨幣であるとしてつき出されるのが至当であるからである。

下れつな男たちでさえ、女性の内にとどる貞潔の力をたたえる。私は物語「アイヴアンホー」の中に出てくるユダヤの女性レベカと、彼女がボア・ド・ギルバートの悪心をひるがえした力とを思い出す。彼女は囚人となって塔の中に幽閉されていた。彼女をとらえる者が入ってきて、手練手管を用いて彼女をわがものとしようとしたとき、彼女の内にある真の女性性は猛然とこれに反抗した。一步でも近づいてみただではおかぬと、この卑劣な男の要求に答えたのである。

「汝の意に従えとな。何ごとを言うぞ。寄れるものなら寄ってみよ」とレベカは窓をぱつと開けるや欄干の端にすくと立った。地上ははるか数百呎の下にある。

「そこ動くな、高慢な騎士よ。汝一步たりとも近よらば、獣のごとき汝のえじきとなるより早く、われとわが身を下庭の石に投げつけて、五体をみじんにうち砕くぞ」。

彼女を誘惑しに來たのは放埒、高慢、無慈悲な男であったが、貞潔を守るレベカの秋霜烈日の如き精神に、彼の内にうっせきたいやしい男性は全く氣押され、彼女をたたえる讚美の叫びが心の中にわき上った。

この男の欲情はレベカの美しさにそそられたが、レベカの貞潔と自尊心はこの男の内にある真の心をゆり動かした。

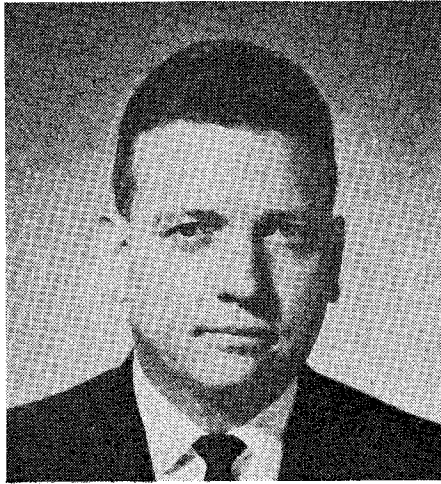
少女時代を幸福のもととなる諸原則からまちがった道へさそいこむわがままきままの生活は、幸福になれそうで実是不幸になりけつきよく失望におちいる浅薄な生活である。

若い女性たちよ、あらゆる旅人の塵を被る路傍の花は、人に賞^あでたえられる花ではない。たとえ摘みとられて生けられたとしても、真の美しさをそなえた花はほとんどない。しかるに、断崖絶壁にかこまれた高嶺^{たかね}に咲く処女の誇り高き花は、若き男が身を挺しても手にとろうとする真の美をそなえた花である。

今日若い女性に求められる最高の理想は「結婚をして家庭をつくる」ときにあらわれるまことの愛であると言えよう。人間の肉体的条件が主体でなくて、正しい精神を主体として「結婚をして家庭をつくる」ときにはじめてまことの愛があらわれる。もしも肉体的の条件だけで「結婚をして家庭をつくる」なら、若い女性たちよ、あなたたちの愛はおそかれ早かれかれしぼんで、家庭生活は重くろしいがっかりとした存在となるにちがいない。

単なる「皮ひとえ」の飾りは、多くの皮相的な讚美者の感覚を喜ばすかもしれない。しかし心の美しい飾りである「まことの女性のもつ貞淑の徳」は、まことの男性に永遠につづく愛、すなわちいつの日か世の人々がことごとく贖^{あがな}われるにちがいない永遠の原則を心の中に目ざめさせるのである。

伝道部長メッセージ



ポール・C・アンドラス

毎月きまって出してきたこのメッセーじも、今度は私が伝道部長として北部極東伝道部の会員の皆さまにさしあげる最後のメッセーじになるでしょう。このメッセーじが「聖徒の道」にのつているときには、私もアンドラス姉妹も、ヴォンとチャールスとラヴァナとジェイとイヴァの五人の子供もハワイへ向けて日本におわかれをしたあとでありましょう。

本当の意味で、日本はいままで私たち家族の「わが家」になっていました。通計すると私はいままで日本に十年の間くらし、アンドラス姉妹も通計八年半以上くらししました。私たちは結婚してから十年たちましたので、その十年のうち日本に六年半以上居たことになりました。別の言葉で申しますと、私たちはその結婚生活の大部分を日本で送ったことになりました。子供たちの大部分は日本で生まれました。始めの二人、ヴォンとチャールスはハワイ生れですが、次の三人、すなわちラヴァナとジェイとイヴァは東京で生まれました。極東に於ける私たちの友人の大部分は日本、韓国、沖縄に居られるわが教会の兄弟姉妹であります。私たちはこの方々を愛し、またこの方々の住んでいる国を愛しています。従って、私たちはおわかれをして、いつまでもなつかしさが消えないにちがいありません。

しかしながら、アメリカもまた私たちの「わが家」であります。私はアメリカ、ユタ州で生れユタ州で育ちました。またアンドラス姉妹はハワイで生れハワイで育ちました。私の両親はとうになくなりましたが、アンドラス姉妹の両親は健全で共にハワイに住んでおいでになります。千九百五十五年このかた、アンドラス姉妹の両親は昨年わずか数日、その娘であるアンドラス姉妹に一度会われただけで、ラヴァナはまだ見たこともなくヴォンとチャールスには赤ん坊

の時から一度も会っておられません。私の兄弟もその家族たちも、私の子供たちを一度も見ておりません。私たちは、日本にある「わが家」におわかれをするのを悲しく思っておりますが、アメリカに居る親戚や教会の兄弟姉妹たちと一しよに、しばらくの間暮らすのもまた楽しいことでありましょう。

私たちはいまおわかれするに当って、現在まことの神さまのまことの教会がひじょうな勢いで大きくなっており、また将来大きな教会になることがきわめて有望なのを実際にして喜びにみたまされていきます。本年六月のおわりには北部極東伝道部の会員数はやく七千五百人に達しました。そのうち日本と沖縄の会員がやく四千五百人、韓国の会員がやく千五百人、アメリカ人会員がやく千五百人であります。また専任宣教師の数は現在百八十三人になって居まして、改宗者は今までにないくらい多く教会に入ってきています。私たちは「天にまします父なる神」と「救い主であるその御子」とが真実生きてましますことと、どんな性質の方々であるかということを理解するようになっている日本、韓国、沖縄における兄弟姉妹がますます多勢になるのを見て心から喜んでおります。また私たちは、偉大な「救いの計画」が何であるかを知り、福音のおしえを日々の生活に実践してその祝福を数々うけるようになっていく会員の数がますます多くなるのを見て心から喜んでおります。私たちは今やこの伝道部に何千という忠実な会員ののを見て、また将来日本、韓国、沖縄の地に何万、何十万いや何百万という忠実な会員ののを見る日までもなく来ようとしているのを見て心から喜んでおります。

私たちはいまおわかれを告げるに当って二人の新伝道部長をむかえることを幸いに思っています。これまで一つであった北部極東伝道部が二つにわかれ、新しく韓国伝道部がそしきされました。この韓国伝道部を管理するためにゲイル・E・カー長老が伝道部長に任命さ

れ、新伝道部長夫妻は「ソール」に伝道本部を設立することになっていきます。また北部極東伝道部の新伝道部長としてはダウエン・エヌ・アンダーセン長老が任命され、新伝道部長夫妻は東京の伝道本部へこられます。カー伝道部長もアンダーセン伝道部長も共に、新伝道部長の地位を辱しめないりっぱなお方であって、アンダーセン伝道部長は以前に千九百四十一年から千九百四十四年までハワイで宣教師の働きをしておられ、千九百五十二年の四月から千九百五十三年の七月までヴァイナル・G・マース伝道部長のもとで副伝道部長の役をしておられました。またカー伝道部長は千九百五十五年から千九百五十八年まで北部極東伝道部で宣教師の働きをしておられ、日本で一年半それから韓国で一年半最初の宣教師として働きをなさいました。この二人とも、このたび大管長会を通して主なる神さまからこの新しい地位に召されたのでありまして、主なる神さまは日本と韓国の伝道部で神の御国をたてる指導者とするためにおえらびになりましたから、この二人は神の御力によってみこころを成就するにちがいありません。私たちはこれら伝道部長のもとに神のみわがが榮えるにちがいないと確く信じております。

また私たちは、今まで待ちに待った建築計画が今年いよいよ着手されて、各支部に美しい集会堂がまもなく実現することをして喜んでおります。前の記事で発表しましたが、同長老はこの記事が皆さまの目にふれるころにはすでに家族と一しよに日本へ着いておられることでしょう。そして、勤労奉仕宣教師たちが召されて、建築が軌道にのりはじめるにちがいありません。私の考えでは、この建築計画がこれからずっとつづけられて、ついにはこの伝道部に何十、何百、何千という集会堂がたてられるにちがいありません。この建築計画のもとに、いくつもの神殿がたしかにこれらの国

に建つにちがいないと私は思っております。各々の支部がみな自身の集会堂をもち、また忠実な会員がみな神殿へ行つて数々の祝福を受けることができるので、教会そしきはすみやかに完成し、すべての会員が教会の完全なそしきのもたらす祝福を受けることができます。多くのワード部とステーク部がそしきされて、わが教会の驚ろくべきそしきがつあらゆる活動は、ことごとく教会員の生活をめぐむにちがいありません。まことに「驚ろくべきわざと不思議」が今や実際にあらわれようとしていますから、私たちは教会員一人一人と共にこの偉大な計画にたずさわることを喜んでおります。

私たちは今おわれをするに当り、教会員の一人一人が神の誠命と教会の教えに従つて下さるよう勧告をいたします。神の誠命と教会の教えに従うことによって、あなたがたの生活はめぐまれ、またあなたがたを通してほかの人たちの生活もまためぐまれるにちがありません。

パウロは「わたしは福音を恥としない。それはすべて信じる者に救いを得させる神の力である」(ロマ書一〇十六)、「言葉にも行状にも愛にも信仰にも純潔にも信者の模範となりなさい」(テモテ前四〇十二)と言ひ、ヤコブは「御言を行う人になりなさい。おのれを欺いてただ聞くだけの人となつてはいけなさい」(ヤコブ書一〇十二)と言ひました。またイエスは「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう」(マタイ伝六〇三十三)、「あなたがたの光を人々の前に輝やかし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天に輝きますあなたがたの父をあがめるようにしなさい」(マタイ伝五〇十六)と仰せになり、予言者ジョセフ・スミスを通して「さて見よ、今われ汝に告ぐ、すなわち汝にとりて最も価値あることは、汝今の代の人々に悔い改めを宣べて人々をわれに導き、以て汝らと共に父

の御国に休まんとすることなり。アーメン」(教義と聖約十五〇六)、「されど汝らのうち、ある人々はわが悦ぶところにあらず。そは彼ら人を怖れて、己が口を開かんとせずしてわが与えたる才能をかくすによる。禍なるかな、かかる人々よ。わが怒りは彼らに向いて燃ゆればなり」(教義と聖約六十〇二)と仰せになりました。以上のことを忘れぬようにして下さい。

福音の教えを日々の生活で実行し、福音をほかの人々にもわけ与えて下さい。また私たちの教会の教えをあなたの親戚の方々、あなたの友だちに教えて下さい。福音の教えをうけるために宣教師たちと集りのできるようにとりきめをしてあげて下さい。そして、あなた自身もこの集りに出席して、教会の教えがわかるようにたすけを与えあなたの親戚の方々や友だちにあなた自身の証詞をして下さい。

宣教師たちが現在使っている「宣教師計画」は大管長会の指令によって全世界に使われている「計画」であります。従つて、この「計画」に反対して争うことなく、信仰をふるいたたせてこの「計画」に従ひなさい。あなたの親戚の方々や友だちはバプテスマを受けなければ救われません。それでありますから、バプテスマは早ければ早い方がよいのです。バプテスマをうければ、真理を理解し教会の教えを実行するたすけを与える「聖霊の賜」をつぎうけるのです。

まことに兄弟姉妹よ。私たち一人一人は神の誠命と教会の教えとに従ひましょう、そうすればどこでいつまた会つてもそれは楽しい再会になるにちがいありません。

アンドラス姉妹、ヴォジ、チャールス、ラヴァナ、ジェイ、イヴァの一同は私と共に、あなたがたの御成功と幸福とをお祈りしつつ、あなたがた一人一人に「アロハ」とよびかけ、また逢う日まで「サヨナラ」と申しあげます。

サヨナラ。



新伝道部長アンダーセン長老の家族

左より

Valerie, Allen, ダウエン・N・アンダーセン伝道部長

Douglas, アンダーセン夫人, Trudy

カリフォルニア州フォルサム教育者であるダウェン・N・アンダーセン長老は去る六月の第二週（三日―九日）に、東京に本部を置く北部極東伝道部の伝道部長として新しく任命されました。新伝道部長は、千九百五十五年以来伝道部長の職に在ったハワイ州カナオへのポール・C・アンドラス長老の後をつぐはずであります。

北部極東伝道部は日本と沖縄とから成り、かつて北部極東伝道部の一部であった韓国は最近分離して別の伝道部が創設されました。

アンダーセン伝道部長はユタ州ブリガムシテイの生れで、千九百四十一年から四十四年までハワイで宣教師として働らき第二次大戦中は軍務に服して沖縄の戦線に参加しました。終戦後再び宣教師となって日本へ渡り、マース伝道部長のもとで一年以上副伝道部長の職に居りましたが、その後アメリカへ帰って監督、副監督、ワード部書記、スカウトマスターそのほかいろいろ指導者としてまた教師としての務めに居られました。

アンダーセン伝道部長はB Y U（ブリガム・ヤング大学）でバチエラーおよびマスターの学位を得、卒論の研究はサンフランシスコ州立大学とカリフォルニア大学で行いました。そして長年の間ユタ州プロヴオとカリフォルニアで教鞭をとり、最近ではフォルサムの各学校の評議員でした。千九百四十八年九月十五日に、アリゾナ州ドグラス生れのベギー・ヒュイシ姉妹と結婚、現在四人の子女があります。

アンダーセン姉妹はY W M I A、初等協会、扶助協会、日曜学校などの指導者としてまた教師として、またP T Aの役員として熱心に活躍しておいでになりました。

モルモンの教義(三十二)

「モルモン経」(その一)

「われらは……またモルモン経(英文)も
神の御言葉なりと信ず」

末日聖徒イエス・キリスト教会

信仰簡条、第八条



佐藤 龍猪

一、モルモン経(The Book of Mormon)

とは何か。

モルモン経は、アメリカ大陸に古代住んでいた民族の予言者たちが、神の靈感を受けて誌した神聖な記録である。その中にはこれら古代の民の予言者たちの予言、神の下したもうた誠命、民の栄枯盛衰などがのっている。

東半球(アジア大陸)に於けるユダヤ民族の神聖な歴史、すなわち「ユダヤの聖典」であるバイブル(聖書)に対して、モルモン経は西半球(アメリカ大陸)に於ける古代民族の神聖な歴史すなわち「アメリカの聖典」である(「信仰簡条の研究」三四一頁、「救いの教義」第三卷二〇九頁参照)。

二、モルモン経は如何にして世に出たか。

千八百二十三年九月二十一日の夜、当時満

十四才を越えたばかりの少年であったジョセフ・スミスは示現の中にモロナイと名のる天使に会い、この天使から「アメリカ大陸の先

住民の記録とその起原を金版に刻んだ一部の書物が埋め」であることを告げられた。彼はこの示現の中で見た通りの場所「ニューヨーク州オンタリオ郡マンチェスターの村近くに
あるかなりの大きな岡」の「頂上からあまり遠くない西側の所」へ行ってみると、一つはかなり大きな石があつて、その石の下にある石の箱の中にその金版とほか二品(「ウリム」とトミム」と胸当)とが置いてあつた。ジョセフ・スミスはかの天使モロナイの勧告に従い、それから満四年たった後の千八百二十七年九月二十二日に、かの金版、「ウリムとトミム」、胸当の三品を天使の手から受けとつ

た(「高仙なる真珠」ジョセフ・スミスの著二、八十一―八十七頁参照)。

ジョセフ・スミスはこれらの品をもつて帰つたが、これを奪おうとする人々の迫害を避けてペンシルベニア州サスケハナ郡ハーモニへ移り、この地に於て千八百二十八年四月十二日ころから同年六月十四日まで、かの金版の文字を譌訳する仕事に従い、マーテン・ハリスに譌訳を口授して大判洋紙で百十六ページにおよぶ原稿ができあがつた。しかし、この原稿はマーテン・ハリスの不信によつて紛失したので譌訳は一時中止された(「聖徒の道」一九六一年一月、二月号「末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹」参照)。

ところが千八百二十九年四月五日、若い学校教師オリヴァ・カウドリがジョセフ・スミ

スを訪問するにおよんで四月の七日から譚訳の仕事が再開され、オリヴァ・カウドリはジョセフ・スミスが「ウリムとトミム」によって譚訳する言葉を書き誌した。このようにして約二ヶ月の後、すなわち千八百二十九年六月初旬にモルモン経の原版からの譚訳が完成した（「聖徒の道」一九六一年二月、四月号「末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹」、「救いの教義」第三卷二一八頁参照）。

それから千八百二十九年八月にニューヨーク州パルマイラのエグバート・B・グランデン氏の印刷所に於て印刷を開始、翌年千八百三十年の三月始めにいつでも世に出る運びとなった（「救いの教義」第三卷二一八頁参照）、初版が発行されたのは千八百三十年三月十八日であった（L・D・S参考百科全書三八二頁参照）。（註）「ウリムとトミム」および「胸当」については「ジョセフ・スミスの見神録」十二頁、「救いの教義」第三卷二二二—二二六頁、出エジプト記二十八〇—三十、レビ記八〇八、民数記二十七〇—二十一、申命記三十三〇八、サムエル記上二十八〇六、エズラ記二〇六十三、ネヘミヤ記七〇六十五参照のこと。

三、モルモン経の原板。

天使モロナイがジョセフ・スミスにわたした

たモルモン経の原板は黄金のうすい延板からできていて、同一の寸法を有し巾約十八センチ、長さ約二十センチで、その厚さは普通のブリキ板よりもややうすい程度であった。これらの金版はその片隅をつらぬく三つの輪でとじてあり、全部でほとんど十五センチの厚さがあった。

この書の一部分は今でも封じてあり、全部は譚訳されていない。その金版の両面には小さな文字が刻みこんであって、めずらしい彫りかたで古代の文字のようであるといわれている（「信仰箇条の研究」三五—一頁参照）。

四、モルモン経の構成。

モルモン経のとびらの頁には「ニーフアイの版」と「モルモンの版」と「イテルの版」のことがのっている。このうち、

(一)ニーフアイの版には(イ)大版と(ロ)小版とがあり、リーハイの息子のニーフアイがこれをつくりその記録をつけ始めた。ニーフアイはその父がエルサレムを立ち去った時以来ニーフアイの民が経験した歴史記録、すなわちその民の放浪生活、栄枯盛衰、その民の王の治世、その民の戦争不和などの記録をつけた。この大版にはニーフアイの民の世代を通じて一人の記録者から次の記録者へと書きつづけ

た記録がのっており、後になってモルモンがこの版に誌されてある記事を抄録したときには紀元前六百年から紀元約四百二十一年まで約千年の年月にわたっていた（「信仰箇条の研究」三五—二頁参照）。

(二)ニーフアイは主なる神から命を受けて大版と小版の二組の版をつくり、小版の上にはリーハイがエルサレムを出たときからベンジャミン王（モルモン経、オムナイ書二十二—二十五参照）の治世に至るまで、約四世紀にわたって神がその民に為したもうた御業の歴史や救い主の使命に関する予言、民の教会に関する記録などをのせた。後になってモルモンがこの版をみつけたとき（モルモン経、モルモン言、二四八頁参照）、彼は深い感銘を受け「この原板から何ら写しを取ろうとはせず、かれが大版からつくった抄録と一しよにこの原板を含めて二冊の書物をまとめて一冊にした」(Of these plates he attempted no transcript, but included the originals with his own abridgment of the larger plates, making of the two one book: "Articles of Faith", p. 265)。

(三)モルモンの版。モルモンの版は、モルモンがニーフアイの大版から行った抄録と、ニ

ファイの小版と、モルモン自身とその息子のモロナイによる追加の版（モルモン言、モルモン書、モロナイ書）とから成る。モロナイはジュレド人の歴史がのっている二十四枚の金版（イテルの版）から抄録をつくってこれをさらにつけ加えた。ジョセフ・スミスが受けて譌訳をしたのはこの「モルモンの版」である。イテルの版（二十四枚の金版）からの抄録は、「イテル書」の名でモルモン経にのっている（「信仰簡条の研究」三五—三五六頁、モルモン経三四頁参照）。

ワレバン^{ワレバン}の真鍮版。これはリーハイの民がエルサレムからもってきた版で、その中には世界の創造と人間の始祖アダムとイヴの記事をのせたモーセの五書、世の始めからユダヤの王ゼデキヤの代の始めに至るまでの聖い預言者たちの預言、エレミヤの述べた多くの預言がのっていた。これからとった多くの抜き書きがニーフアイ人の記録の中にあり、これを抄録した「モルモンの版」の中にもあらわれている（モルモン経ニーフアイ第一書五〇—五二頁、「信仰簡条の研究」三五二頁参照）。

五、モルモン経の配列。

モルモン経は十五の主部または区分から成り、そのうちの一つの例外（モルモン言）をのぞいてみな各々主たる著者の名をつけて何

々書、たとえばニーフアイ第一書、ヤコブ書、イノス書、モーサヤ書、アルマ書などと呼ばれている。

モルモン経の中にある最初の六書、すなわちニーフアイ第一書、ニーフアイ第二書、ヤコブ書、イノス書、ジェロム書およびオムナイ書は、ニーフアイの小版にのっているこれと相当する部分から譌訳したものである。そしてモーサヤ書の第一章からモルモン書の第七章までの本文は、ニーフアイの大版からモルモンが抄録したものの譌訳である。モルモン経の終りの部分、すなわちモルモン書の第八章から全巻の終りまではモルモンの息子モロナイの手によって刻まれた。モロナイは始めに父モルモンの記録を完成しようとして仕事を進めたが、あとからジュレド人の話をのせた一組の版（イテルの版）から抄録したものをこれにつけ加えた。これがイテル書としてモルモン経の中にのっている。モロナイはまた後にモロナイ書と呼ばれている部分をこれにつけ加えた。

オムナイ書とモーサヤ書との間に「モルモン言」がある。これはニーフアイの小版に刻まれたままのニーフアイ自身の記録と、それ以後の時期に対するニーフアイの大版からつくったモルモン自身の抄録とを結び合わすも

のであって、ニーフアイの記録の先の部分の簡単な説明と後につづく部分のはしがきの役をしているものと見なされる。このようにして、ニーフアイ人の歴史記録は切れ目のない一貫したものとなって示されている（モルモン経四頁、「信仰簡条の研究」三五七—三五八頁参照）。

六、ニーフアイの小版から譌訳が為されたわけ。

前に述べたようにジョセフ・スミスは天使モロナイからモルモン経の原版を受けた後、これを奪おうとする人々を避けてベンシルベニヤ州サスケハナ郡ハーモニーへ移ったが、ここへ移るについてジョセフ・スミスに友情を示し、かつまたその心に深い感銘を受けていたニューヨーク州パルマイラの住人であるマーテン・ハリスは、千八百二十八年四月十二日ころハーモニーへやって来て、すぐにジョセフ・スミスが記録の譌訳を口授するのを書き留めることを始めた。マーテン・ハリスはこの仕事を六月の十四日までつづけ、大判洋紙で百十六頁におよぶ原稿ができた。ハリスの友人の中には、ハリスがこの仕事の中でしている役割りについてひどく懐疑的な人々があつた。そしてぜひその原稿をもつてきて見せてくれといひ、とくにハリスの妻

は一目その原稿を見せてもらいたいと泣きつ
いた。そこでハリスは、その原稿をもって帰
てこれらの人々に見せてやる特権を与えても
らいたいとジョセフ・スミスにいつくたの
みこんだ。ジョセフ・スミスはこのことを主
なる神に伺ったが許されなかった。しかしハ
リスが彼に泣きつきいつまでも嘆願するの
で三度まで主なる神に伺った末、数人のほかは決
して見せてはならないという条件を守るとい
うことでハリスのねがいはいは聞き届けられた。

マーテン・ハリスは、きわめて厳肅な誓約
をしてこの約束を守ると誓い、かの原稿をも
つて帰宅したが、帰宅すると彼に圧力が加え
られ、彼は自分がした厳肅な誓いを忘れてほ
かの者にその原稿を見せた。その結果計略に
よつて、原稿は彼の手を離れてほかの者の手
にわたり、彼のところへ戻つてこなかった。

〔聖徒の道〕一九六一年一月、二月号「末日
聖徒イエス・キリスト教会歴史叢書」。
主なる神はジョセフ・スミスからしばしば
翻訳の賜をとり去り、また神聖な記録もとり
あげて彼をこらしめたもうたが、後悔をして
いる僕ベジョセフ・スミスに憐みをおかけに
なつて「ウリムとトムム」と金版とを彼にも
どし、彼の敵のもつてゐる愚計を明し、同時
にこの愚計を失敗させる方法をお示しになつ

た〔教義と聖約〕第十章、「信仰箇条の研究」
三五五頁参照。

主なる神は啓示の中で彼に、紛失した原稿
にのつてゐる記録の部分を再翻訳してはなら
ない。それは、悪人たちは、ジョセフが失つ
たものをまた翻訳してしまうまで待ち、その
間に本当の記録とは反対の意味を表わすよう
に言葉を変えておいた盗まれた原稿を世に出
して、予言者ジョセフ・スミスは同じ文章を
二度と同じように翻訳することができないと
いい立てる手はずをしているからである。

あの盗まれた原稿には、ニーファイの大版
からモルモンがつくつた抄録の一部分、すな
わちリーハイがエルサレムを出たときからベ
ンジャミン王の治世（モルモン経、オムナイ
書二十二―二十五参照）に至るまでの記録の
翻訳がのつてゐた。

主はジョセフ・スミスにそれを再翻訳しよ
うとするな。その代りにニーファイの小版、
すなわちモルモンがニーファイの大版からつ
くつた抄録につけ加えた一組の小版から同時
期の記録を翻訳せよ、「われは彼らがわが業
を打ち破るを許さず。誠にわが智慧は悪魔の
狡智より勝れるを彼らに示さん」と仰せにな
つた（教義と聖約十〇四十三、「信仰箇条の
研究」三五五―三五六頁参照）。

さきにモルモンがニーファイの大版から抄
録をつくつたとき、主なる神はモルモンに向
つて、ベンジャミン王の治世に至るまでの抄
録に、同じ期間の歴史を誌してゐる民の記録
がのつてゐるニーファイの小版をそのままつ
けておけと命じたもうた。このようにして

「モルモンの版」の中には、ニーファイの大
版からの抄録と小版そのままとが二重に含ま
れてゐた。モルモンはこの二重の歴史を誌す
にはかくれた賢い主の目的があることを表明
し「私は賢明な目的があつてこのようにする
それは私の中にある主の「みたま」が働いて
私にそうせよとささやきたもうからである。
私は何でもみな知っているわけではないが、
主は将来起ることをことごとく知つたもうか
ら私にそのみこころを行はせたもうのであ
る」といつた（モルモン経、モルモン言七参
照）。

モルモンが「みたま」のささやきに従つて
「二重の記録」を用意しておいた時（紀元約
三百八十五年、モルモン経二四八頁参照）か
ら、約千四百年以上たつた後に（原稿が紛失
したのは千八百二十八年）「聖徒の道」一九六
一年一月号三十九頁参照）、主なる神が何の
目的でモルモンにこのようなことをお命じに
なつたかが明らかになつた。



アンドラス伝道部長

御一家への感謝

渡 部 正 雄

「日本の人々よ、何ゆえ天を仰ぎて立つか、汝らを離れて天に挙げられ給いしこの主の僕は汝らが天に昇りゆくを見たるその如く復きたり給わん」

大空の一角に消えて行つた飛行機を涙にかすむ目で追いつながらいつまでも呆然と羽田の空港に立っていた私の耳にささやく声が聞えた。『そうだあの宣教師は必ず帰つて来る。あんなに日本人を愛しあんなに日本人に奉仕した人があるだろうか。肉親の兄弟以上に私共を愛し、私共の為に涙を流し、断食して祈つて下さった貴方の導きなくては私たちは一日も生きて行くことは出来ないのです。必ず又帰つて来て下さい。いや、帰つて来られるでしょう。私共はその日を楽しみに待ちながら、貴方から与えられた神の誠命を忠実に守つて信仰生活を續けて行きます』。

愛する宣教師を見送る度に感じたこの気持、今や目前に迫るアン・ドラス伝道部長御一家の離日に当り総結集して万感胸に溢れ、到底羽田空港に立ち得ざるのではないかと恐れるのであります。

部長さんはよく私の体の三分の一ぐらひは日本人ですといわれたが私は部長さんは日本人以上の日本人だと思ふ。私たち日本人を愛したことに於て、日本人に尽くしたことに於て、又あれ程巧みな日本語と機智に富んだ言葉を以て満堂の聴衆を笑わせ楽しませ感激させた日本人が果して幾人いたであらうか。

誠に私たち同胞の為に召されて遣わされた神の使者ならずしては出来ない、人間業以上のものであった。それは部長さんの全身に聖靈の力が満ち溢れそれが口から迸り出ていたからではなからうか。

モルモンの権化、これが部長さんに最もしっくりする表現だ。「僕はモルモンだよ」幾度か声高らかに壇上からかく叫び、又私共に誇りを以て世の人にかく叫ぶようにすすめられた。

瀕死の苦悶の最中に異教徒より改宗を迫られて「私はモルモンとして死にたい」といって、その固き信仰を守り抜いた勝又兄弟の殉教を、丁度大阪でこの六月に開かれていた西中央地方部の大会の席上で耳にされた部長さんは、涙に声をふるわせて、その立派な模範を褒め讃え、私共同胞がそのよき模範に従つて信仰を完うするように激励されたが、これが最後とはいわれないが当分あの底力ある素晴らしい部長さんの説教を大会の席上で聞けなくなると思うと誠に淋しい。あの六尺余りの堂々たる体軀が壇上に現われただけで私共信者は、すっかり安心し、絶大なる信頼感に、自己の信仰生活に何らの不安も覚えず、聖靈にみちみち溢れたその言葉に靈感され、又、機に應じて頻々と放たれる警句に爆笑して時の糸つのもも覚えなかったのであります。大阪の大会で話される始めに、

「西中央地方部大会と東中央地方部大会と、どちらが大きいか見る為に東中央地方部長の今井兄弟も見えています」。

といわれて壇上の今井兄弟を紹介し、どっと湧き上がる笑声の内に肩の凝りを柔らげて、話を進めて行くところなど、誠に部長さんならではの出来ぬ鮮かさでありました。これも結局部長さんが私たち日本人に大きな愛を持っておられるからではないでしょうか、部長さんの在任中、教勢も日々に躍進し、今日見られるように四千人近くの会員を擁する大きな教会となつたが、それだけにいろいろな事件

も起つて東奔西走の御多忙な中に随分部長さんの心を痛めるようなこともあったのではなかったかと恐れるのであります。つい最近にも或事に就て相談をしていました時、私共が同じ日本人である同胞の態度にしびれをきらして断固とした処置を主張したのに対し、「やはりそうしない方がいいでしょう」

と申され、その大海のような寛容さには自ずから頭が下がり深く反省させられたのであります。

今は部長さんも五人の子宝に恵まれて、すっかりよいパパになられたが、終戦後間もなく、現副伝道部長、ブライス長老御兄弟や、岡内長老たちと共に真先に伝道の戦士として日本に乘込んだ頃は全くパリパリの張切った若い、真理の爲の闘士といった感じてあつた。その後引続いて、今は部長さんのベター・ハーフであり五人のお子さんのお母さんとなられたアンドラス姉妹、当時のパーカー姉妹も伝道に來られ、新潟方面でも伝道されており、私は天王の大会で始めてお目にかかった。にこにこした笑顔で、日本語でばかりお話ししておられたのが印象に残っています。

一九五〇年の二月の或寒い日に、北海道から東京への途中、仙台支部に立寄られた若い宣教師、アンドラス長老とネルソン長老に従つて、まだ会員になりたての私は共に仙台のメインストリート一番丁を歩いていました。

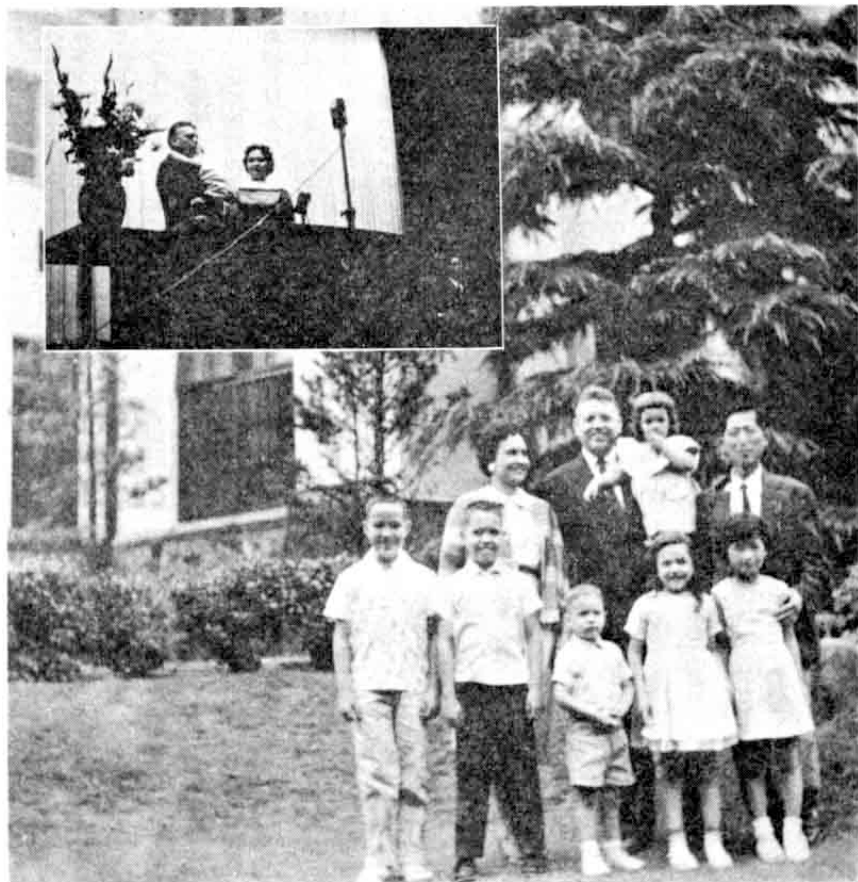
「皆さん、集って下さい。これから大切な、お話を致します」

突然雷のようなアンドラス長老の声が響き渡つた。道行く人々は一斉に振返つた。アンドラス長老は高く手を振つて群衆を招き仙台

で始めての街頭伝道が行われたのでした。その時私は、權威ある如く語る人、主が我が名のために能力ある業を行うといわれた主の僕を眼のあたりに見て振り立たずにはいらなかったものであります。

この教会には、何か目に見えぬ大きな能力がある、宣教師たちはたしかに聖靈に守られている。その夜のMIAの集会でアンドラス長老が話をされた時、部屋中に聖靈の能力がみちみちたことを私は今でも昨日のようにはっきりと覚えています。

火の玉のように信仰に燃えた若いアンドラス長老は盛んに家庭訪問や、電車伝道などもされたらしい。現に東中央地方部長の今井兄弟も電車の中でアンドラス長老に見出された一人であると聞いています。又日本語は特に当時から目立ってお上手で、毎朝本部で大勢の宣教師たちに教えておられた。又当時、本部で夜に、時々モルモン經典の翻譯委員会が開かれていたが、一度私が出席した時、彼は日本語にもその自信の強さを示して自説を譲らなかつたが閉会后、日本人の長老と仲直りをしているのを見て、若かりし頃の面目躍如たるものがあるなど今でも私はその時の彼の顔を思い浮べるたびにひとりではほえむのであります。このような若かりし日のがむしやらの一面は、再び部長さんとして日本に來られてからは、すっかり別人のようになつてしまわれた。部長さんとして再度、日本に來られた時、やはり私は仙台で始めてお目にかかったが、まずその堂々たる体軀に驚いた。すっかり貴族がついて如何にも部長さんらしい。昔はもっと痩せて眼光けいけいとして人を射るといった感じてあつたのだが、どうしてこんなに變つたのだらうと不思議に思つたので



した。

やはり伝道が終つてから、主の誠命にそうて、早速、よき夫となり父となつて素晴らしいモルモンの家庭を持たれたからでしょう。

そこに私たちは黙々として影の形の如くにつき添われるアンドラス姉妹の偉大なる感化力に気がつくのであります。お二人の仲はあの素晴らしいドゥーエット・ハワイの歌のメロディーによく現れていますが、多忙な公務の余暇に、よく本部の庭の芝生で楽しそうに語り合つておられる睦まじいお姿を見かけたものですが、私たち本部で働らいていた兄弟姉妹たちはいつも、わきを向いてほほ笑んでいたのです。アンドラス姉妹はあまり語られない方ですが、それだけに私共兄弟姉妹の為によく気を遣つていろいろと尽くして下さいたことを心から感謝しております。五人のお母さんであるだけでも大変なのに私たち一人一人の信者の家庭のこと迄、よく心配して下さい、私の家内が交通事故で四十日程入院した時、まだ幼なかつた二女の安子を引きとて下さり、一ヶ月以上も御自分の子供さんたちと一緒に育て下さったのです。ですから今でも安子はラバナちゃん、ボンちゃん、チャックさんといって心から慕い、別れを惜しんでおります。又みんなも安子安子といってとても可愛がつてくれます。子供さんたちの日本語は全く本物で、お母さんは到底歯が立たず、お父さんでも時々やりこめられるのです。安子は世話になっている頃よく「ラバナちゃんはお母さんより日本語上手よ」とか「今日は部長さんがボンちゃんに日本語を聞いていたよ」などと報告してくれました。昨日、安子が本部にお別れの挨拶に行った時、みん

なで喜んで迎えて下さったが、「ボンちゃん、チャックさん、ラバナちゃん、大きくなつたらきつと宣教師になつて日本に来てちょうだいね」というと、「うんきつと来るよ」と三人声を合せての頼もしい返事に、すっかり安心してしまいました。部長さんも「今度ハワイに帰つたら本式に日本語を勉強します。読み書きも習います」と誠に嬉しいお言葉でした。私は「今度にはヒンクレイ長老のようになられて、しばしば日本を訪ねて下さい」とお願いしました。安子があげた三つの小さな贈物をボンさんチャックさんラバナちゃんが嬉しそうにお父さんお母さんに見せていると「ホエアルイズマイン」とジェーさんがさびしそうな声を出した。私は胸を刺されたような思いがして何とも言葉が出なかつたが別に泣きもあばれもしない、いじらしさ。ジェーさん今度持つて来るから許してね。私は心の中でジェーちゃんに詫びた。

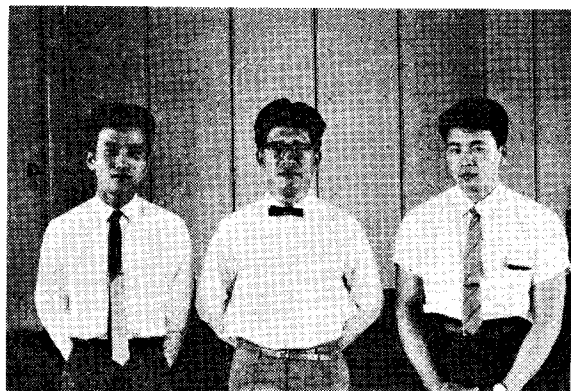
やがて部長さんは二階に寝かせていたイーヴァちゃんを抱っこして降りて来られた。そして親子七人、にこにことして「聖徒の道」の為キャメラの前に立つて下さったのです。私たち日本の会員にとって永久に忘れることの出来ないこの御幸福な御一家の上に常に豊かな主の祝福がありますように心からお祈りする次第です。私は部長さん一家へ贈る記念アルバムを次のように記しました。

Dear President Paul C. Andrus and family Thank you very much, you are great servant of the Lord. You have been served to two "J" Jesus and Japan. May you keep these two "J" for all your life.

支部だより

金沢支部

西中央地方部長鈴木正三兄弟のおとづれに



支部長会

よって日本人の手による支部長会が三月に結成され、初代会長に川田益雄兄弟が選ばれ支部の為に働いて下さいましたが東京転勤となり、第二代の支部長として亀井秀明兄弟、第一副支部長には高崎興一兄弟、書記北川康雄兄弟が聖任されました。

支部長は三十代の働きざかりで、協和をモットーとし高崎兄弟は十代の従順さで一生懸命仕え、活動力の源のような二十代の北川兄弟と優れた人々によって、金沢支部は運営されています。

福岡支部

各支部の皆様お元気ですか、日本最南のモルモンの地福岡は今毎日のように雨が降っています。今日も神の深い愛のもとに六月二十四日二人の方がバプテスマを受けられました。渡辺静姉妹、西田順一兄弟の二人の方です。六月二十日ランプ長老が三の宮支部よりふたたび福岡支部で伝道されることになりました。

した。六月二十四日、聖餐式を板付ベースですることになり、ベースより二台のバスが迎えに来ました。ギン長老の、ひだり安全、発車オーライ!! のアイズでまず生の松原へ向い、バプテスマを終えた後に、ベースへ行きすばらしい礼拝堂で、ベースの会員と共に聖餐式を致しました。六日二十五日、カネコア長老が横浜支部へ転勤。六月三十日、支部予算を得る為に食べよう会が開かれた。出席者約六〇名。

最近長老達のすばらしい伝道のおかげで、求道者の数がぐんと増えました。けれどもこの支部にも共通の悩み通り讃美歌と部屋が足りません。

私達の支部の会員求道者は歌が好きなので、日曜日聖餐式の後、いつもライマナ長老指揮のもとで、一時間歌の練習があります。いつも口びるに歌を、明るい福岡支部へ発達し神の正しい道を歩いて行く様に祈って……さようなら。

東京南支部

MIA課外活動に、「ウクレレ教室」

夏を迎え、南支部では夏期MIA課外活動として、七月から毎週土曜日の夕方、「ウク

謝しつつ閉会となりました。この日の参加者は三十七名でした。

佐藤(房)姉妹記

○宣教師の移動ラーサン長老京都支部

菊地支部長阿倍野支部

○岡町支部より秋元彬江・絃江姉妹を招き、アノ演奏会開かる。

甲府支部としては今までにない大きな行事で、長老、兄弟、姉妹の協力は涙ぐましいものでした。市長も出席されて五月十八日夕、主権末日聖徒イエス・キリスト教会、後援山梨時事新聞社、NHK甲府放送局で開かれた。ここに、時事新聞とパンフレットをのせておきます。

小樽支部

各支部の皆様お元気ですか、北海道もようやく初夏のきざしが見え始めて参りました。

さて古くなりますが、五月三日支部資金のためのバザーが扶助協会主催で開かれまして、兄弟姉妹の熱心な働きによりまして、予通りの利益を得ることが出来まして会員一喜んでおります。バザーも回を重ねるに従って色々な面で腕が上がり、余りロスも出ない様になり、味の方もまずまずの評判らしいです。

又、最近小樽支部では男子会員が非常に多くなり活潑に働いておりますので喜ばしいことの一つです。(以前小樽支部は女性会員が多く女性天国でしたから)又、家族が全員改宗された方二家族ありましてそれらの人々に働きかける宣教師の熱心な働きに心から感謝しております。

六月八日当支部の潟沼誠二兄弟と、広島支部の村田陽子姉妹がめでたく結婚式を挙げられました。お二人共、強い信仰と証詞の持主でありますので、これからも大いに支部の支えになって働いて下さることでしょう。会員一同心からお祝い致しております。

五月六日夜、暴漢に刺され重傷を負われたヒールテン長老は、その後東京の病院で療養されておりましたが、彼の強い信仰と天父なる神様の恵みにより奇跡的に一命を取りとめこの程元気になられたそうです。多くの兄弟姉妹の祈りと合わせて、彼の強い証詞が神のみ許に聞き届けられたことと心から喜び又、神様に感謝いたしております。

再びこのようなことの起きないように注意すると共に、どうか各支部の皆様方も注意なさって下さいね。

「小樽支部長会」

以上

支部長

第一副

第二

潟沼一利兄弟

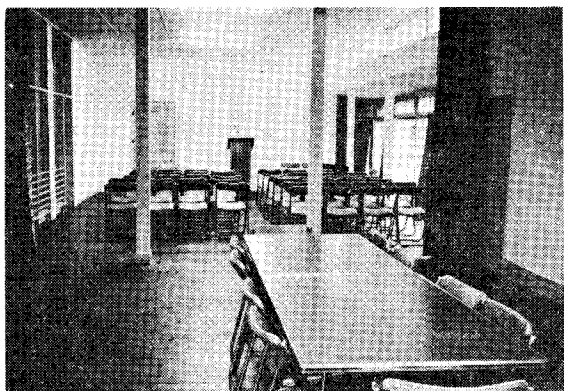
小林 毅兄弟

潟沼誠二兄弟

新潟支部

うっとおしい梅雨もあがり本格的な暑さを迎えた今日この頃、各支部の皆様お元気ですか。私達新潟支部にとって大変大きな祝福が





有りましたので、その喜びを皆様と共に分か
合いたいと思います。と申しますのは、当支
部長年の念願叶って、自分達で管理出来る素
晴しい集会場が与えられて、一同大喜び
でこの祝福に感謝しております。

支部開設以来集会場に恵まれます、およそ教
会とは縁の遠い繁華街の真中で、演説者の
声と宣伝カーのそれとが混り合い、オルグ

ールの音にお祈りが遮られるといったこと
がしばしばでした。支部開設以来の先輩会員
は、もともと大変な苦心をなさったそう
で、その苦心談を承わる時に、彼等の喜びは
またひとしおかと思われます。証会に於いて
阿部ティ姉妹、栗原姉妹など、過去をなつか
しそうに思い出されながら苦心談を語ってお
られました。

集会場の問題は、新潟支部の発展の遅れた
大きな原因の一つでもありましたから、これ
を機会に支部が大きく発展するよう、皆はり
きっている次第。幸い、新会場使い初めの六
月三日の日曜学校は、これまでにない多くの
人々と共に行うことが出来、又求道者もだん
だん増加しております。

この建物は、明治時代の洋風の大部分年期の
入ったものですが、外側をあずき色で塗り、白
のペンキでフチ塗りされ、内側は白と淡い
薄緑ですっかり一新され、大変清潔な感じで
すが、真新しいペンキの臭いが鼻をつくのが
欠点といえば欠点。大小六つの部屋を有し、
隣りのクラスの声が聞えない分級がやっと可
能になりました。しかしこの建物も三ヶ年限
りの契約とのことで、そのうち今度は支部所
有の建物を、と一段高い希望を目指して努力

しようと思えます。又、この大きな祝福をお
与え下さった神様に感謝し、又、伝道部長、
松川第一副支部長、大橋第二福支部長の努力
に対して深く感謝申しあげます。

六月十七日の日曜学校にアンドラス伝道部
長、佐藤竜猪兄弟をお迎えしまして集会を行
う事が出来ました。偉大な指導者の大華の訪
問に兄弟姉妹すっかり緊張した次第。三人の
兄弟から素晴らしいお話をうかがい励まされ
と共に、もともと努力せねばと決意を新
らたにしました。又、伝導部長から十年後の
新潟支部の姿を語っていただき、新潟市内に
いくつもの支部が設立され、更に新潟ステ
キ部、新潟ワード部をも組織すべきであると
励まされ、その大きな目標に向って最善の努
力を戒められました。そして十年後再び伝道
部長が日本にやって来られた時に、その進歩
の跡を調べに来られるそうで身のひきしまる
思いでした。又新潟支部の建物は、日本の支
部のうちでも恐らく一番美しい建物であるう
と聞かされて、一層大きな喜びを感じまし
た。

今度来日されるカラマ長老は、かつて新発
田支部、新潟支部で伝道された長老で、新潟
支部にとって特別縁の深い長老であるので、

支部だより

きつと特別の興味をもって新編支部を訪問されることと思ひまして、大きな期待を抱いて来日をまち望んでおります。

西宮支部

◎宣教師異動

ハルビー長老 岡山支部へ
エンサイン長老 山形支部へ
東京西支部より テレビ長老
岡町支部より ステレオ長老

この半年程の間に当支部は著しい発展の実績が残されました。全ては献身と真実なる愛とで導きを示して下さる宣教師の力の賜と思ひ今日も新たに心よりの感謝をお捧げ致します。

又、六月三日の大会に於いては福屋航二兄弟に大神権が与えられました。求道者の当時より教会の活動には活発に働かれ、数々の責任も着実に果される兄弟は、その誠実と強い証の持主でおられることに私達会員の一人一人は心からなる信頼と尊敬を寄せております。

◎扶助協会が発足致しました。

長い期間、姉妹たちの念願であった扶助協会がこの六月より永井君子姉妹会長の基に誕生しました。最早運営資金獲得の為に六月二

十三日に食事会が開かれました。四十人以上の出席は本当に盛大に楽しく、転任して来られました御二人の長老も全く溶けて始めての御友だちも楽しく過して下さり姉妹たちは意気合々の雰囲気感謝を忘れることが出来ませんでした。

協会の初めのお仕事として秋に開催の予定のバザーの準備に毎週実用の小物類を作り始めています。きつと将来はすばらしい姉妹たちが生れるようにと一同願っています。

◎補助組織役員改正是次の通りです。

Y M M I A 会長 高城 卓哉 兄弟
副会長 田辺 豊治 兄弟
Y W M I A 会長 丸山 苑生 姉妹
副会長 飯尾 文 姉妹
M I A 書記 大内 和子 姉妹
オルガニスト 児玉由利子 姉妹
ダンス教師 福屋 航二 兄弟
音楽 丸山 苑生 姉妹
絵画 飯尾 文 姉妹
「歓迎委員会」

会長 安井福司郎 兄弟
委員 坪内 修 兄弟
委員 園原美代子 姉妹
委員 片山 京子 姉妹

「日曜学校」

会長 坂本 吉章 兄弟
第一副 池 正爾
第二副 北川 政吉
オルガニスト 伊藤 清
指揮者 堀田 智春
書記 坂本 鈴子 姉妹
教師(上) 田口 鈴子
教師(下) 田辺 豊治 兄弟
「子供日曜学校」

責任者 北川 兼子 姉妹
教師(上) 久保 恭子
教師(下) 松村 高子
「図書委員会」

会長 川村 稜威 兄弟
委員 西田 昌代 姉妹
「扶助協会」
会長 永井 君子 姉妹
第一副 安芸美江子
第二副 伊藤 始子
書記 鈴木 典子

松本支部

梅雨の時節柄、気分が優れぬことでしょうが、他支部の皆様一同お変わりないと存じます

六月九日～十日には地方部大会が東京に開かれ松本からも参加する機会を得ました。誠に残念ながら、長年当伝道部で部長として、伝道部発展に御尽力なさっておられたアンドラス伝道部長の解任が知らされ、唯心より感謝致しております。

松本支部の様子を知らせましょう。

梅雨の中休みとも思える六月十七日は、雲一つない澄み切った空から、夏の陽が差ししました。こんな天候の下に二人の会員を誕生すべく、バプテスマの儀式が川辺にて行われました。児玉伯子姉妹は児玉兄弟の妹さんです又熊谷茂雄兄弟はまだ中学生です。二人共児玉兄弟よりバプテスマを受けられ、直ちに按手札を受けて会員に確認されました。松本支部唯一の兄妹の会員が生れたわけです。一週間後の二十四日にも青柳弘一兄弟が会員になられまして、松本支部は宣教師の働きがありまして段々会員が増しております。

松本支部長として一年余の長期間に亘り伝道に、支部の用事に熱心に働かれておられたハビカン長老は、二年半の任務を終えて、十九日松本を去ってアメリカへ帰られました十七日の夜には丁度フチガミ長老も東京西支部への転任が知らされましたので、両宣教師

を囲んで送別会を催しました。ハビカン長老の帰国を前に、支部の一姉妹は「もし戦争が起つても、松本に否、日本に爆弾を落さないように」と頼んでおりました。松本での期間が長かった為か、多数の出席者を得ましたし彼の働きによって導かれた兄弟姉妹も沢山おりました。新しい支部長として、スミス長老が東京西支部より着任されました。大きな身体が日本の建物には狭苦しいようにみえます。一見テレビスター「千葉信男」が想像されます。もう一人カーター長老が東京中央支部より来られまして、伝道に励んでおります。

二十四日は地方部長会より小室兄弟が訪問されました。御一緒に小室姉妹と敦ちゃんも訪問され、集会に出席しました。敦ちゃんのおいたふりは、小室兄弟が話をなされてる時に説教台の下にもぐり込んだり、腰掛の下で仰向けに寝転んだり、愛嬌をふりまいておりました。

三十一日はスミス長老の提案により、掃除パーティーなるものが開かれました。宣教師の住居の大掃除に兄弟姉妹が十数名集い四人の宣教師と共に一生懸命働いて、塵芥をどっさり外に積みあげ、すっかりきれいな住居に

仕上げました。カーター長老はススで顔を黒くする程熱心に働いておりました。ほぼ片附いた処で、ケーキとジュース（宣教師の料理したもの）が出されて、疲れを取る為においしいいただきました。多数の出席者があった為かジュースのコップが不足して、井につがれ、はては金魚鉢（？）でジュースを飲む人も出る程でした。整えられた建物内でいたただくケーキは、特別なおいしさがありません。今年もこの掃除パーティーにより、心の中まで清くすることが出来て晴々とした顔立ちで帰路につきました。

七月一日の安息日には証詞会が終ってからバプテスマの儀式が先々週及び先週に続いて再び行われました。昼頃降っていた雨も儀式の始る頃には止んでしまい、無事一人の兄弟を迎える事が出来ました。加納克己兄弟は信州大学の学生です。実家は名古屋市の隣りだそうで、信州まで勉強に来ておられます。宣伝広告 夏です。山は招いています。今年の夏は、日本アルプスへ登りましょう。入口は松本です。どうぞ、観光の門戸松本へ！

横 浜 支 部

支部は小高い丘の景勝の位置にあり、情緒

ある庭は四季の喜びを伝えます。しばらく、御無沙汰していましたが浜のつれづれを綴らせて頂きます。

近年、横浜名物はシューマイが知られているようです。東海道線のホームに汽車が止ると、真赤な洋服で白いたすき掛けのシューマイ娘を見かけます。

さて、横浜支部の名物は？

一つとせ、人に知られた横浜の

名物男の数え歌 ソイツハゴウキダネ

(以下くり返えす)

二つとせ、婦夫仲は随一よ

支部の模範のスーパーマン(田中支部長)

三つとせ、皆んなに知られ味のある

横浜名物骨董品 (沢山第一副支部長)

四つとせ、夜明けに起きて支部巡り

系図で親しい熱弁家(渡部系図協会会長)

五つとせ、今は長老で熱血児

もとは求道二年生(相良支部長会書記)

………統きは次号へ………

○支部大会テーマは(ルカ十三・廿四のおなじみ「狭き門より入れ……」)

☆五月七日(月)のスポーツ大会で開備の火ぶたを切り、岸根米軍キャンプ体育館で行われ約六十人の出席者がありました。

☆五月十日(木)はMIA大会、ゲームの夕べで地方部の佐藤義二兄弟夫妻を迎え楽しい一時を過ごしました。

☆五月十二日(土)の夜、系図委員会主催の親睦会、歌とゲームの夕べで系図協会会長の渡部正雄兄弟を迎え、夕食を食べながら有意義な宵を憩いました。歌の中には故郷や昔を懐しみ、先祖を思わしむる心のゆきとどきがありました。出席者約五十人。

☆五月十三日(日)大会の最後を飾る日であり、母の日でもあり、神権会、扶助協会のプログラムより始まり、日曜学校、聖餐会、ファイヤ・サイドと行われました。地方部長の今井一男兄弟はじめ、上野兄弟、鈴木姉妹を迎えて主は真に生きてしますと靈感にみたまれました。神権会の話も良かったようです。「我等が通る門の狭さ」「入門資格」「ふとっている人のためのやせるこつ」「門の中には何があるでしょう」。

◎支部の特徴(美点の巻)

○会員と宣教師の調和。

会員の協力のもとに宣教師も進んでモルモン、ユモアを出しているようです。第一日曜の夜に、ゴールデン・メンバー・ス・クラブという伝道のための宣教師主催

のプログラムがあります。又、一ヶ月に一度、宣教師主催の親睦会があり、おおいに楽しいアイデアです。「秘密パーティー」「反対パーティー」「ルンペン・パーティー」(友人一人の入場料)又、姉妹の宣教師と扶助協会は親しく交わって集会を持っているようです。

○田中支部長さんのフアイト

中央支部にいた時は、機関車と呼ばれ会社ではスーパーマン、熱ボンブ工場長、支部のみんなを引っぱって行く。前LD Sコーラスの団長(その環境として支部長会補助組織初め、ほとんど誰でもが音楽指揮をするようになりました)。

○日曜学校の充実

会長岩崎和夫兄弟の経験と体験のもとに土屋・田崎副会長、西条書記の力によって他支部におとらぬ所が多いようです。○教室ホール、地方部で一番良く整っているようです。

○良い所は其の他にもろの山の如く(これは欠点)

◎神権昇進者とバプテスマは、本部だよりを見てみい……(長所) つつがなく

小泉記

ココア、チョコレートと知恵の言葉

常識を使って

实际的であれ

このごろ気がつくのは「知恵の言葉」について極端な考えが波のように週期的におしよせてくることです。世の中には、主なる神さ

やその製品であるチョコレートを用いることが「知恵の言葉」にそむかないと言うなら、コーヒーを飲んでもよいではないかというこ

まがその教えの中で極端なことを避けておいてになり、また私たちがそのようにするのがよいということを全く理解していない人たちがあろうです。啓示された神の言葉に何らつけ加えようとせずそのまま守っていることは、いつも安全確実な道であります。

ココアやチョコレート

を飲むのは「知恵の言葉」にそむいている。しかもココアの中にはコーヒーよりも一層多くカフェインが含まれているという言葉は（それなのにココア

とを認めさせようとする努力の一つである今流行の宣伝であります。

ある人たちはなぜ極端なことを言って人々に衝撃を与えて喜んでいるようすであるか、または本当でないことを本当であるかのように喜んで発表するほど注目的になるのを楽しんでのか理解に苦しむのであります。

ココアとコーヒーとカフェインに関する真相は何でしょうか。「グット・ハウスキーピング・マガジン」（家政雑誌）は長い間その堅実なことについて名声を保っている雑誌でその記事は注意深くつくられ、またすべての読者にわかりやすいように述べてあります。しばらく前に、その雑誌の「質問欄」に次のような記事がのりました。

「質問。ココアはコーヒーよりも多くカフェインを含んでいますか」

「解答。ココアはコーヒーよりも多くカフェインを含んではいません。ココアとチョコレートの中にはカフェインと同様の興奮剤であるテオブロミンとほかにカフェイン自身も含んでいます、その量はいちじるしく少量であります。

中程度の強さのコーヒーは、その二十八・四㉔中に二十五ミリグラム弱のカフェイン

を含んでいます、ココアの二十八・四〇中には〇・六ミリグラムのカフェインと一・七ミリグラムのテオブロミンがあるにすぎません。

従つて、この事実を見ればココアやチョコレートがコーヒーと同じように有害であるという考えは完全に追いはらわれるはずであります。熱いチョコレートを飲むことはコーヒーを飲んだと同じように、実際に「知恵の言葉」を破っているのだと言う人は真実を言っているではありません。予言者ジョセフ・スミスの時代に「知恵の言葉」に言つてある「熱き飲料」については、当時の大幹部であつた兄弟たちが「それは茶とコーヒーのことである」と公式の解釈を与えたというのが「熱き飲料」についての真相です。

ココアとチョコレートについて前に言つた主張をする人々は、自分の責任に於てそう言つてゐるのであつて、明らかに事の真相を知らずに言つてゐるのであります。

たとえば、神殿参入の推薦をするための面接に於て、または神殿昇進の推薦をするための面接に於て、またはそのほかどのような目的で面接をするときにも、監督（または支部長）はその人に向つてあなたはココアを飲み

ますか、またはチョコレート、キャンデーをたべますかなどとたずねません。もしもココアやチョコレートをを用いることが教会の教義にそむいてゐるなら、あなたはココアやチョコレートをを用いますかとたずねるはずですが、実際はそういうことをたずねません。

またこれは「ホール・ホイート」（玄麦粉）と白い小麦粉についても同様であります。白い小麦粉を食用にすることは「知恵の言葉」にそむいてゐると言う人々は、何にも知らないでそう言つてゐるのであります。白砂糖についても同じことであります。教会は白い小麦粉についても白砂糖についてもこれを禁止したことはありませんし、またこれらについて質問を出したこともありません。自己の責任に於て語る非公認の人たちだけが、自分一個の考えから教会の教義をこしらえようとしてゐるのです。

またこれは肉についても同様であります。もちろん主なる神さまは肉をひかえ目にたべよと忠告をなさいましたが、全然肉を食べてはならないとお言いにはなりませんでした。これに反して聖書の中には、

「後の時になると、ある人々はまどわす霊と悪霊の教えにと氣をとられて、信仰から離

れ去るであらう。それは良心に焼き印をおされてゐる偽り者の偽善のしわざである。これらの偽り者どもは、結婚を禁じたり、食物を断つことを命じたりする。しかし食物は信仰があり真理を認める者が感謝して受けるようにと神の造られたものである。神の造られたものはみなよいものであつて、感謝して受けるなら何ひとつ捨てるべきものはない」（モテ前四〇——四）と言つてあります。

また「教義と聖約」の中には「また何人たりとも人は肉を食うべきものにあらざとしてこれを人に禁ずる者は神より聖職の按手任命を受けし者にあらざ」（教義と聖約四十九〇十八）と主の言葉がのつています。

「聖なる箱」が揺れないように手を出しておさえることは容易であります。しかしそれをするには最も大きな危険をはらんでおります（サムエル記下六〇六・七参照）。

（千九百六十二年五月五日「チャーチニュース」社説より）。



— 東 中 央 地 方 部

六 月 大 会 報 告 —

福 田 真 (仙 台)

年に四回開かれる地方部大会の中でも、地方部の全支部が参会するのは六月と十一月の大会だけである。それだけに地方から上京する人も、京浜地区にある人々も、この大会に寄せる興奮と期待は隠せないものがある。

六日九日(土) 夜市ヶ谷の私学会館で開かれたMIAの金と緑の舞踏会は、雨が降るにもかかわらず、はなやいだ気分と、あっちこっちに展開される親しみのこもった挨拶の取りかわし、誰でも感じるモルモン独特の雰囲気の中で盛大に開かれた。日増しに充実してきた「モルモンバンド」？は今回は三つのバンドが出演し、互いにその技量を披露してくれた。南支部の支部長を先達とする全部会員によるバンドの力演などにアンドラス伝道部長は、「大変素晴らしいことです」と盛んに喜びと讃辞を呈してくださった。次第に高まる人々の親愛と喜びは、いつの時でも見られるものであるが、地方から上京した人々にとっては特に、心うつものがあつただろう。そうした心への響きは、やがてそれぞれの支部のMIAの中に新しい力となって表われていくのに違いない。

翌六月十日(日)は雨も上り、暑さが感じられるような天気の中に神権会、扶助協会の大会がトップとして開かれた。

今大会の主題は、近き中に建設されるであろう教会堂へ思いを向け、主の宮居を立てる力強い信仰を打ち立てようと「教義と聖約百二十四章二十五―二十七節」が取り上げられた。

力強い信仰は常に多大なる犠牲や奉仕を要求し、いかなるものにもくじけぬ希望や真の愛を必要とする。その範となるべき、モルモンの一人の会員の証を冒頭に述べられた伝道部長のメッセージは集まる神権者にとって末日に神の召しを受けた者たちとしての励ましと勇気を与えてくれた。その後の分級で、伝道部アロン神権委員に任命された佐藤泰生兄弟らを中心とするアロン神権者のグループと大阪より上京した渡辺驥伝道部第一長老定員会々々長を中心とする、メルケゼデク神権者のグループに分れてお話や討議が行なわれた。

扶助協会の大会は「モーサヤ書十八章八―九節」を主題として、松本支部の土屋けさ姉妹、東中央地方部扶助協会の第二副会長浅川静子姉妹のお話の後、伝道部扶助協会々々長アンドラス姉妹のメッセージがあった。又その間に仙台支部扶助協会会員によるコースが行なわれた。

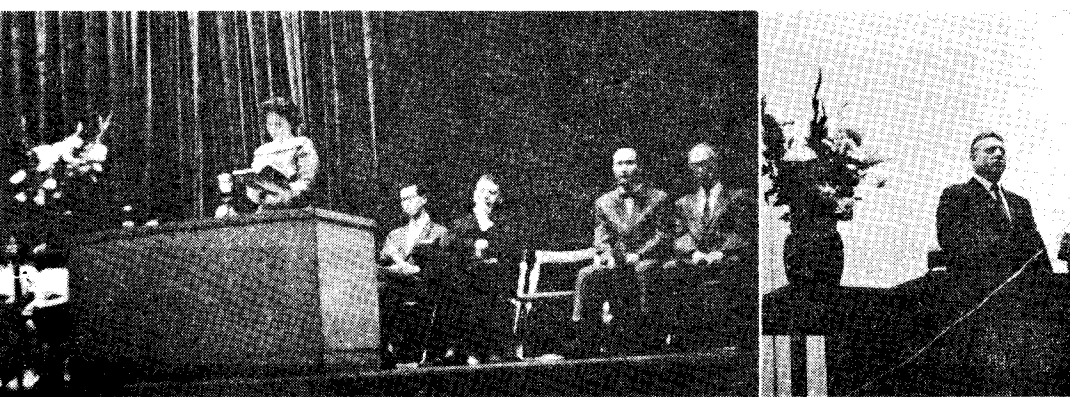
午前十時半、一般大会が上野道男兄弟(伝道部日曜学校指導者)の司会によって開かれた。山形・仙台・松本・新潟・甲府・群馬・横浜・東京の四支部



から集ったモルモンの民は、挨拶する握手の中にも兄弟としての愛にもえた固く力強いものを誰もが持っているように感じられた。多くの犠牲と努力を払ってやってきた地方の支部の人々は、疲れよりも、もっと多くの霊の糧を得ようとして目を覚し、心の目を開き一言でも逃すまいと真剣な面持で壇上に立つ説教者たちに、向っていた。第一長老定員会長渡辺彌兄弟の話、地方部評議員の丹羽三吾兄弟の話があり、東京LDS合唱団のコラスが行なわれた。美しい信仰のコラスは心の疲れを休め、私たちの心の中に新しい勇氣と希望の泉を湧き上げらせてくれるようであった。万言の言葉よりも、心の奥底に深くしみこんでいった音の響きは、真実の響きとしていつまでも残るに違いない。

伝道部系委員会々長渡部正雄兄弟の熱烈たる信仰の言葉の後に、アンドラス姉妹のお話があり、最後に私たちの愛する半分日本人と称する伝道部長がすつくと立たれた。伝道部長の話を聞くために私は大会に行くのだといってやって来た一人の姉妹の言葉のように、私たちは彼の話すその言葉を細大もらず聞きとろうと務めた。「当教会の大学、ブリガムヤング大学に留学した河原兄弟はアメリカで腎臓を煩い、重病となり、死は間もなくであるといわれた。しかし病の祝福の働きがあり、彼は小康を得て、奇跡的に日本に帰ることが出来た。日本に帰

って暫く小康を保った彼は間もなく神の許に召される日が来た。電話によって、私は河原兄弟の病院にかけつけた。彼は私の行ったその一時間ばかりの間、非常に意識もはっきりとして沢山のことを話してくれた。彼は自分がアメリカで熱心に信仰生活に励まなかったことを悔い改めると共に、側にいたご両親にこの教会は神の真の教会であることを証し、私にご両親に向ってモルモン教会が、神の真の教会であることの証を述べ、お二人が悔い改めをするようにすすめて下さいと熱心に語り、その後彼は墓の彼方の世界に旅立った」。こう話された伝道部長の顔の中には、私たちが読みとらなければならぬい真しなる信仰生活への進めをはっきりと感じることが出来た。更に彼はモルモンの範となる一人の兄弟について話した。「勝又二郎兄弟は河原兄弟と同じように腎臓で亡くなられた。彼が三度目の腎臓を煩っていた時、家族三人をかかえて、病苦と数々の思いにとらわれていた時、某新興宗教の人たちが彼が病氣であることを知り、病院に、自宅にやってきて、彼と仕事の為に疲れている勝又姉妹に向って、何日も何時間も責めたてた。勝又兄弟は遂に彼ら新興宗教の人々に向ってこう証詞した。『私はあなたの教会に入って生きるよりも、モルモンとして死ぬ』と、彼らはその時から訪問することを止めた。この言葉は日本伝道部の輝かしい歴史の中に加え



るられるべき言葉である。最も苦しみのどん底にある時、この兄弟は真なる信仰を披瀝して、ついに馳るべき人生の道のりを走り終えて、主の許に立っていかれた。」心の奥の中に、何かが音を立てて入って行くように、伝道部長の話はずっしりと重い響きを持って参会した人々の全てに力強い信仰を与え、それぞれの生活の場に於いて峻烈なる信仰生活を営むことのできる勇気を与えたに違いない。

午後的一般大会は午後二時から、汗ばんできた体の感じの中に横浜支部長田中健治兄弟司会のもとに開かれた。アメリカ、特にソルトレーク市を訪問して帰国されたばかりの尾古姉妹の話、地方部評議員佐藤竜猪兄弟の話の後、東京、LDS合唱団のコーラスがあつて再びアンドラス伝道部長が立っていわれた。「私は今正式に伝道部長としての解任を本部より受け取りました。」遂にきたるべきものがきた、と感じたのは伝道部長御夫妻だけではなく、集まる数百の人々も同じように感じたに違いない。過去六年にわたる歳月の間、彼が私たちや私たち同胞の爲になした、その努力や犠牲は何によって換算されようか。彼の顔のめつきりとふけた、その一つ一つのしわの中にも私や、あなたに対する真実なる愛情の働きが無言の中に秘められている。どんなに難しい問題があつたことだろう。どんなにいやなことがあ

つたことだろう。どんなにつらいことがあつたことだろう。私たちの量り知れない沢山の困難があつたことを、彼の顔が、彼の言葉が彼の全てが物語っている。

伝道部長はアンドラス姉妹と一番下のお子さんを壇上によばれ、「最後まで、モルモンとして生活し又ふたたび、神さまのもとにおいて、お逢い致します。どうぞ頑張ってください」と話された。

「伝道部長さん、心から感謝致します。」誰しもがそうつぶやいただろう。そして又「ふたたび神さまの国に於いてお逢い致しますよう」という、あの言葉を誰しもが、この大会に於いて得た、一番貴重な言葉として受けとめたであろう。今井一男地方部長の話の後で、天然色映画「タバナクルコアイヤー」が演じられた。数百人の大合唱、信仰、技量、努力そうした幾つかの要素の集積された、素晴らしいコアイヤー、流れるハーモニーの中に、音楽を通して聞える主の呼び声を私たちは聞きとることが出来た。「又お逢い致しますよう、神の国で」真実なるモルモンとして生きよう。純粹な信仰を懐き、困難と誘惑にもめげず、ひた走りに、信仰の道程を進み人生の馳り場の終える時、輝かしい勝利の冠りを得よう。主なる神は求める者たちに、勇気と希望を与え新たな生命を日々に私たちの身の中に与えてくれる。激動する生活の中に、より強い、正しいモルモンとしての信仰生活を打ちたてよう。これが大会に於いて得られた、主の貴重な呼び声であつた。

けいず(四)

正しい姓名の記入法

渡部正雄

標準、家族の記録の中に姓名の記入箇処が多くなるけれど、如何なる場所にかゝらず次のような標準によつて記録される。

一、名を先に書いて姓を後に記す。名も姓も共に、如何なる場合と雖も略号を用いてはならない。又その順序を逆にして姓を先に書いてはならない。

二、完全な姓名を書くこと。如何に長い姓であらうと、又、幾つかの名を持っているとしても簡略又は省略してはならない。

三、綽名を用いてはならない。若しその綽名が本名に代る程よく用いられていた場合には本名の下にかゝつて記入する。

四、名が二つ又はそれ以上ある場合は、又はとして全部記入する。

例、正男又は虎男

五、称号及び爵位

皇室等尊貴の出身又は公爵等の爵位を有する場合 例えは

正仁親王(義宮) 西園寺公望公爵

六、ローマ字は、ハンドライティングの場合には活字体で大文字で書く、男性にも女性にも共通の名には名前の下にアンダーラインを引くこと。

A、夫の欄

一、軍人の場合の階級(大将、少尉等)

二、教会の職(長老、執事等)

三、学位又は職業(博士又は医師等)

かゝつて内(の)の称号を氏名の前につける。農夫又は商人などの一般的職名はかゝつて、氏名の後に入れる。

B、妻の欄

完全な実家の姓名を記す。実家の姓が夫の姓と同姓である場合には姓にアンダーラインをすること。日本人の場合、すべての姓にアンダーラインをするので同姓の場合には、二重のアンダーラインとなる。

夫(婚家先)の姓のみしかわからず実家の姓がわからない時は夫の姓を記して名の下に夫人と入れる。英文でミセス○○と書く。未亡人が再婚する場合、若し実家の姓が不明で最初の夫(婚家先)の姓のみ判明している場合、初婚の夫の姓に夫人をつける。

C、家族の記録の上欄右端に記入する夫及び妻の姓名は前述と同様であるが只夫の場合、肩書きは記入しない。

D、子供の姓名

a 子供の姓名は出生の順序に従つて記入する。

b 双生児の場合次の様に記す。

Kazuo Yamada	4 July 1830
Sadao Yamada	16 Dec 1832
Toshio Yamada	Twin { 7 Jan 1838
Kunio Yamada (双生児)	{ 17 Jan 1838

c 性別

性別の欄に男、女と記入する。若し性別が判明しない時は最後の欄に♀を附して

(性別の欄に) 名の代りに子供と記し性を記入する。そしてその後の探求により判明した時は、改正家族の記録の子供の欄の適正な箇処に記入する。

d 姓名は一人一人に就て完全に記入し、決して同上を用いてはならない。同上を用いると若し最初の姓が誤っていた場合全部、誤ることになる。

e (1) 若し子供が満八才以前に死亡した場合に於て性別は判明しているが名がわからない時には性別の欄に男女は女として名の代りに息子又は娘と記して姓を記入する。

(2) 子供が満八才以前に死亡したか、それ以上に生長したか不明の場合、そしてその名が不明の時はミスター又はミスとして、その姓を記入する。

f 子供に称号又は階級名等を用いる時は、かっこして名の前に記入する。

g 子供の欄の直接先祖の名の前にX記号を記す。例

M. I. X. Fumio Watanabe.

h 子供が十五人以上いる場合、家族の記録の子供の欄は十五しかないので十六人目以上を二枚目に記入する。この時二枚

目の両親(夫と妻の欄)を省略してはならない。一枚目と同様に詳記する。表の上部に#1、#2と明瞭に太い線で書く一枚目の右下に続くと記す。

i 死産

名前をつけなかった場合は、息子又は娘の次に姓を記しその後にかっこして死産と記入する。

名前をつけた時は名と姓を記入してその後にかっこして死産と記入する。

パプテスマとエンダウメントの欄に死産と記入し結び固めの欄に結び固められずと記入する。

j 表は記録事務室にその記録を提出する為、系図協会でその写を取る時全部タイプされるので、すべての字は読めるように活字体で書き、又判読困難な文字は、そのまま複写するようにして写しを取る場合に間違いのないようにする。



文芸 八月

夏二題

甲府山田武雄

四十の哀感かもす薫風の乳房

極まる声あげて咲きいる白きバラ



「老後にそなえよ」

人間の平均寿命がしだいにのびるにつれて、「年をとる」という問題は前よりも一層複雑になっています。今に、昔はとも考えられなかった、七十才まで生きる人が多くなるにちがいありません、またその中で七十才以上にまで生きる人もあるにちがいありません。大ていの人には長生きをしたいと思つていますが、長く生きていよううちに「年寄り」になりたとは思つていません。年をとつて力の限界が来はじめると、前途の希望をなくしてしまふ人がたくさん居ます。私たちは、できるだけ良く一つ一つの問題に対抗する備えをして、このどうにもならない状態に直面することが肝要であります。「年をとる」ということは神の御計画の一部分であります。それでありますから、一人のこらず年をとらなければならぬのであります。

人が年をとると、毎日毎日何もせずにくらすよりはかにのこされていないと思ひにくらい、不幸な老年に輪をかけて不幸にするものはありません。老年は、人を安楽椅子に沈みこんでいる状態に追放するものではありません。老年こそ、それまでにやってみる時間のなかつたいろいろの事をやってみる時になれるのです。人は目的をもつて生きることができず。老年は、継続的の奉仕、勉学、読書、研究、神殿の働き、旅行そのほかたくさん興味ある仕事をする機会を与えてくれます。

私たちは、人生の一つ一つの面は、次に来る面のために備えをする時であるということを感じていくてはなりません。各々の年令にある人々のために、人生では為すべきことがたくさんあります。青年時代は弾力に富んだ時代であります。青年時代のおもな資源は肉体の力であります。青年は名譽、名声、家族、家庭などを得ようと努力し、適切な導きを受けるならば心を清くするいろいろな経験をも得ようと努力します。中年時代は「円熟」のもつていろいろの美徳をあらわし、中年時代の財産の中には釣合ひ、より良い判断、落つきなどがあります。中年時代は多くの責任を負わなくてはならない生活のきびしさを覚えさせます。また為す価値のある努力をやりとげようとするのもこの時代です。老年時代は完全、信頼のできることに、知恵、安定、恩恵分別、健全な判断などのすぐれた特質によつて知られています。年をとった人々は安全、健康、楽しみ、認識、愛情などを欲します。年とつた時に配偶者、子供たち、友人たちから愛を注がれることはきわめて必要なことでありますが、それがすべての必要を満すわけではありません。

子供の日曜学校ガイド

9 月 用



『音楽指揮者である貴女は
子供たちに福音を教えているのです』

貴女は、子供たちの前に立って、讃美歌の指揮をなさいますネ。その時、どんな気持をもって歌の指揮をなさっているのか？

○何んにも思わない？

○只、夢中で間違っては大変と指揮をしていますか？

○心から神を讃美しつつ、指揮をなさいますか？

指揮者としての貴女の責任を、ここで再確認してみましょう。

日曜学校の音楽は、言葉のように人々の胸に深く根をおろし、充分に福音を教え、また、集った人々と一緒に歌うことによって、さらに、信仰を高めることが出来るのです。

讃美歌を口にする時、我々の心は、清くされ、悔い改め、感謝、讃美、愛、そして勇氣と、さまざまな気持を持たせてくれます。たとえ、それらの言葉は短かくとも、讃美歌には、人の心を神へと結びつける、強い力を有しています。

こんな経験をお持ちの方もありません。

外国の方が、その国の言葉で讃美歌を歌っているのを耳にしたとき、どんな歌詞で歌っているのか判らなくとも、メロディーを通して神を讃える歌だとわかる時がありますネ。讃美歌は、全世界の人々を神へと結ばせることの出来る歌です。

さて、貴女が選んだ、日曜学校の讃美歌は、何番と何番でしようか？ どうぞ貴女自身に次のように質問してみてください。

『私が選んだ讃美歌は子供たちの霊的成長に役立ったかどうか？』

特に子供の日曜学校の讃美歌は、歌を通して神様のことを学び、日々を感謝し、人々に愛を持ち、証を強くする等、実に多くのことを教えています。これらの歌は、子供たちの日常生活に根をおろし、喜びと幸せをもたらすことでしよう。つまり、貴女は指揮者、或いは伴奏者であると同時に福音を教えている先生なのです。子供の日曜学校の目的は、神様に対する知識と信仰とを、幼い時から心に植えつけ、そして、それを育ててゆくことです。上手な歌の選び方に依って、いっそう霊的雰囲気を作り、楽しく勉強できるでしょう。

次に、実際に讃美歌を選ぶ時、どのような

ことに注意すべきか考えてみましょう。

一、子供たちが一度も歌ったことのない歌を選ばないこと。

二、季節的なものを選ぶこと。

(例えば開会の歌に(九月)主のよみがえり

#40等を選ばないこと)。

三、毎週毎週同じ歌を使わないこと。

四、一ヶ月位に渡って讚美歌予定表を作って置くこと。

大体、以上が主に注意して頂きたいことです。尚、練習の歌を歌う場合、適当な所できって親切に教えてあげましょう。歌詞を皆で声を合せて、メロディーをバックに聞きながら読んでみましょう。先生が、その歌詞の意味を説明してあげたら、もっと歌が生きてまいります。

ところで、貴女自身、今度の練習の歌、よく憶えしましたか？

先生方は、出来るだけ讚美歌をたくさん、どれでも自信をもって大声で歌えるように普段から準備しておいてください。先生が蚊のなくような声ですと、子供たちまで小さな声になってしまいますヨ。子供たちは歌うことが大好きです。日曜日だからといって讚美歌以外は歌ってはいけなと申しません。「子

らは歌う」の中にも、たくさんそれ以外の良い歌が選択されています。

童謡の中にも、幾らでも日曜学校で歌ってもかまわない歌がありますもの。しかし、開会・閉会には、讚美歌を是非唱ってください。

あまり童謡を取り入れ過ぎますと日曜学校でなくなってしまうから。これは一つの方法ですが、貴女の支部でも、実行してみてください。

子供たちを大人の日曜学校に参加させることとです。と申しまして、コラス・聖句朗読・見学とこの程度でしょうが、日曜学校会長さんと、時間をよく打合せて、一ヶ月に一回位行つてはと思います。

何故こんなことをするのかというと、子供たちに、大人の人たちもこのように勉強しているのだ、私たち、僕たちも、もっと一生懸命に神さまのことを先生から教えて頂くこう又、私たちのコラスを大人の人たちに聞いてもらつてうれしかったから、次の讚美歌もよくおぼえよう……と。向学心を強くさせるのに役立つと思います。

ずっと前のことですが、復活祭の時、#40を唱つてくれた子供たちがいました。それは、大人の日曜学校の復活祭のプログラムの

中で一番感銘深く、まるで天使の歌のようだったことを記憶しています。

どうぞ指揮者である皆さま、子供たちの前に立った時、あまり「コワイ」顔をせず、ニコニコと楽しそうに指揮してください。きつと、すばらしい讚美歌の合唱となりますヨ。

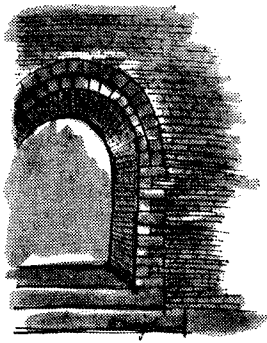
お知らせ

伝道本部にて、本年度教科書の在庫数を調べてみました。次の通りです。(七月四日現在)

上級、新約聖書物語―0 (すでに購買した方がありましたら、その方よりお借りしてください。)

中級、宗教と生活Ⅱ(Ⅱとなっていますが実際は第一部しかありません。従ってⅠと訂正致します)―36冊。

下級、霊的成長Ⅱ―35冊。



9 月 用

日曜学校には、聖典、と、ノート、を

——全役員教師に——

最近日曜学校に出席する人の中で聖典らしきものを一冊ももたず、クラスでも要点を書き記す人も少なくなってきました。ひどい人になると週刊誌や小説をもってきて隠れて、あるいは大っぴらにみている人もおります。あなたの支部ではこのようなことがありますか。日曜学校はあくまでもを学ぶ学校です。学校に行くのに教科書やノートやペンや鉛筆をもたない人がいるでしょうか？

時間中に週刊誌や小説をみている生徒がいたら注意しない先生はいるでしょうか？

折りの家、学問の家である礼拝堂やクラスが無秩序であってはいけません。

我々の天父から頂いたこのすばらしい良きおとずれを学ぶためにふさわしい雰囲気や礼拝堂にクラスに満ちるように役員教師は生徒に次のことを強調して下さい。

『日曜学校には聖典、教科書、ノート、ペンを持って来て下さい。又神聖な教会に週刊誌や小説、新聞を持ちこまないで下さい』

又生徒がノートをとることができるようなまとまったレッスンを教師が準備するよう役員教師は全力を尽して下さい。

九月十六日「日曜学校基金募集の日曜日」

九月の第三日曜日は一年に一回私たち支部ワード、ステークなどの日曜学校に於て「日曜学校基金募集」の日曜日とするよう大管長より命ぜられております。北部極東伝道部では各人にあまり負担にならない金額として一人五十円程度を標準としております。これはあくまで標準でありますから十円、二十円でもよろしいわけです。これらの集まったお金を会長は支部長に「日曜学校基金」として渡して下さい。これら日曜学校基金は次のようなことがらに使われます。

- 1 視聴覚教材を、必要な支部に送る。
- 2 日曜学校をより良く知ってもらうためチラシ、啓蒙のためのポスター、又日曜学校の二分半の語に用いられる原稿用紙などの小間物。
- 3 日曜学校のテキストを譏諷するために使われる原稿用紙、ノートなどの雑費。
- 4 インストラクター、チルドレンフレンドなどの雑誌、図書に必要な本の経費。
- 5 地方部大会などで日曜学校関係者に伝道部の方針の伝達、及び具体的な指示をするに必要な指導者の旅費。

現在余り活潑な活動をしておらないので支

出は殆んどありませんが、八月から伝道部の日曜学校も完全な組織を作って皆様の御期待にそいたいと思います。乞う来月号の聖徒の道ノ 尚十月末までの収入支出の明細はまとめて十二月号の聖徒の道に載せる予定です。

この五十円献金はあくまで自由意志によるものであり、名前の記入は必要ありません。この計画を成功させるために献金の趣旨を書いたチラシと封筒を前の週に渡すのは良い方法です。又子供の日曜学校でも是非やって下さい。そのときは子供の御両親によく説明したチラシを必ず前に配って下さい。

日曜学校に於ける音楽
音楽の目的
礼拝を更に高めて靈的な雰囲気を作る

指揮者とオルガニストへ
1 最も大切なことは人々に靈感を感じさせ真の礼拝と讃美の念を起させること。
2 オルガン（あるいはピアノ）、指揮棒、楽譜台、メトロノームを備えること。
3 適切な讃美歌を選ぶこと（静かな聖きん式の歌、お葬式、別れの歌は避ける）
4 熱心に、しかも謙虚な気持ちで効果的に指導する。

5 正確な指揮法であり、オルガンである。

指揮者とオルガニストの共通の義務

1 会長会のもとに、日曜学校で使用するすべての音楽を監督する。
2 日曜学校ガイド及び日曜学校の手引をよく読んで理解する。

3 折り会、日曜学校、指導者会、役員教師会に出席する。
4 日曜学校に使用される讃美歌を前もって一緒に練習する。

指揮者の義務
1 日曜学校のすべての歌を指揮する。又第一副会長、オルガニストの助言を得て日曜学校に用いられる歌を注意深く選択する。

2 伝道部提案の練習の歌も教える（七分以上にならないこと。皆が間違ったようにすけずけ注意しないこと）。
3 いつも微笑をたたえておくこと。
オルガニストの義務

1 日曜学校に用いられるすべての歌の伴奏をする。
2 必要なときにはいつもオルガンをひいて会の靈的な雰囲気を高める。（前奏、

後奏、分級復級の際など）尚これらは教会の讃美歌だけに与えられる必要はない。バッハ、ヘンデルなど大いに利用して下さい。

テクニク講座IV 講義法と討論法

高校や大学では先生が生徒にものを覚えさせるのに、一般に講義法が用いられております。ここでの講義法とは先生が準備したレッスンをとうとうと一人でしゃべりまくる一方的な知識の伝達方法で、生徒が二十人以上いるとか、知識が専門的な場合にはかなり良い方法といえます。しかし皆様の中にも御経験の方がいらっしやると思いますが、二・三回欠席したり、復習や予習をしないとその講義は全然難しく、又そのため面白くなく、眠くなるのをいかにくい止めるかに精力が費されて（小生なんかは精力尽きはてて遂に睡魔に陥落させられることおびただし？）その長い時間を過ぎねばならない人もでてくるわけです。一方、討論法によるレッスンはその場でよく考えることができるので理解し易いですが論点がテーマを離れて意味のない話台になったりするということがあります。そ

ここで二つでは一応講義法と討論法の長短について考え、いかなるレッスンが最も効果的かを調べてみましょう。

討論法の長所

- 1 生徒自身の活動があるのでレッスンに興味をもち、身近な問題として考えられ易い。
- 2 よく考える時間が与えられ理解し易く又印象に残り易い。
- 3 先生と生徒の交流があり親密さを増す、又生徒同志も友だちとして理解し合える。

討論法の短所

- 1 論点、テーマを離れて結局意味のないとりとめのない話し合いになり易い。
- 2 ある限られた人だけが話をし勝ち。
- 3 二十人以上の場合は仲々困難。
- 4 テーマに関して深い知識がないと満足のゆく指針が与えられにくい。
- 5 上手な質問、たとえなど準備する必要あり。
- 6 討論を司会する種々の技術が必要。
- 7 生徒間に感情的な対立を生じ易い。

討論法の長短を検討していかにレッスンを押し進めていくべきかを考えてみましょう。

講義法の長所

- 1 未知の知識や教義を伝える場合。
- 2 重要な点を要約したり結論をいうとき
- 3 短い時間に比較的沢山のことを教える
- 4 人数が多い(二十人以上)

講義法の短所

- 1 生徒が活動しないので、興味をもちにくく、面白くない。
- 2 考える時間が殆んどないのでその場で理解することが難しい。
- 3 生徒の能力に即応しない場合が多い。
- 4 生徒が分らない難しい宗教的な用語を説明しないで通り過ぎ易い。
- 5 ノートをしないとすぐ忘れる。
- 6 生徒の討議、質問、応答がないと消化不良な場合が多い。

その他いろいろあると思いますが、代表的なものだけあげてみましょう。それでは福音を教えるレッスンは講義法と討論法どちらを用いるべきでしょうか？ 勿論両方の長所を含んだレッスンです。即ち時と場合に応じて両方を適当にカクテルしたレッスンが最も理想的といえます。京浜地区の各クラスを見て感じることは大部分のクラスは講義法九に討

論法一の割合ですが、比率は五：五、あるいは四：六位と少し討論法を多いぐらいのレッスンは成功するようです。特にA・Bクラスは討論法を上手にとり入れて活潑なレッスンにして下さい。

新 約 聖 書 (続)

イエスの昇天、再降臨の暗示	使徒1:9~11	イエスは全世界の創造者	ヘブル1:2
ペンテコステ(五旬節)の奇跡	” 2:1	メルケゼデクはサレムの大祭司でアブラハムよりその什分の一を受ける	” 7:1
ステパノの殉教	” 7:54	信仰はみないことを確認すること	” 11:1
パウロ(サウル)の回心	” 9:3	人間は神より子としてとり扱われている	” 12:7
コルネリオの示現	” 10:1	智慧に不足している者は神に祈れ	ヤコブ1:5
パウロの法廷での弁明	” 22:1	語るのに、怒るのに遅くあれ	” 1:19
アグリッパの前のパウロ	” 25:13	行いなき信仰は死んだもの	” 2:17
我福音を恥としない	ロマ1:16	自分の舌を制せよ	” 3:8
人の義は信仰による	” 3:28	灌油の儀式	” 5:14
人間は神の子で相続人	” 8:16	善を行って苦しみを受ける者は幸い	第1ペテロ2:20
伝道の重要性	” 10:14	キリストの霊界への伝道	” 3:19
悪をするな、復讐するな	” 12:19	キリストの再降臨は突然起る	第2ペテロ3:10
身体は御霊を宿す神の宮	第1コリ3:16	互いに愛し合いなさい	第1ヨハネ4:7
耐えられない試練は与えられない	” 10:13	なまぬるき者は主の口より吐かれる	黙示録3:15
心して聖さんを頂くこと	” 11:27	悪魔と天使の戦い	” 12:7
聖霊により始めてイエスは主と知る	” 12:3	天使モロナイの訪れの予言	” 14:6
すべてに勝る愛について	” 13	福千年、第1、第2の復活	” 20:1~6
イエスの復活	” 15	日の栄えの有様	” 21章22章
死者のためのバプテスマ	” 15:29		
我々は貧しいようで富める者	第2コリ6:10	附 録	
奉仕は豊かな祝福で報われる	” 8:2	聖句の解きあかしと解説	
パウロの受けた試練	” 11	聖 書	教義と聖約
キリストにあって国籍はなし	ガラテヤ3:27	毒 麦 マタイ13:25	86 章
信仰によって人はやがて全き人となる	エペソ 3:13	ヨ ハ ネ ヨハネ21:23	7 章
妻たる者、夫たる者に	” 5:22~	ガラの海の 黙 4:6	77:1
子たる者、僕たる者に	” 6:1~	4つの生き物 ” ”	77:3
いつも喜び主に感謝せよ	ピリピ 4:4	24人の長老 ” 4:10	77:5
柔和、謙そん、寛容を身につけよ	コロサイ3:12	巻 物 ” 5:1	77:6
アダムではなくイヴが惑わされた	第1テモテ2:14	そ の 他 ” 7章~11章	77:7~15
家を治めて始めて教会の責任ももてる	” 3:5		



MIA

リーダー

教師養成用 レッスン

良く教え、指導する為の六つの基本的標準
第四課 誰でも参加させること

日曜学校の「Aクラス」の教師が或る時この様な問題を持って、我々の処へやって来た。「私がレッスンをしている間、どのようにして子供たちを静かにしたら良いのですか。」教師の目的はレッスンをする事ではあるが、単に子供たちを静かにさせておく事が最良の手段であろうか。明らかに教師は道具である。彼の仕事は生徒たちが彼らの思考力、情緒、福音の原則に従って生活する習慣を持ち、馴れるように手助けをすることである。この目的に達するよう生徒たちは積極的にその学習過程に参加せねばならない。「考えない処に学習はない」といわれている。また、気持ちの良い雰囲気のない処に振舞いの望ましい変化もない」のも事実である。教師が単に受身の立場にある子供たちにレッスンをするクラスでは所属感、自己表現、自尊等の人間の根本的な欲望は実現されないままにされている。そこで、生徒たちが思考し、鼓舞し、そのグループの一員と感じさせる事の出来るような幾つかの方法を考えてみよう。

参加の為の基礎を設けること

参加は全ての事情により促進されるし阻止もされる。クラスの部屋を寒くも、窮屈にも、格式張らせることも出来るし、また暖かく、ゆったりして、和やかな雰囲気にも出来る。部屋をだらしなく、乱雑にしておけば混乱を招くことになる。

一、良き教師の必須の仕事の一つは彼の部屋を良く整頓することである。もし可能なら、椅子を円形に並べる。これは生徒たちがそのグループの一員であると感じさせる助けとなる。

二、生徒たちを受け入れる別の方法は、彼らが部屋に入ってきた時、挨拶することである。教師は最初に部屋に入って、ドアの傍に立ち、入ってきた一人一人と握手をし、名前を呼び合うと良い。この一連の動作は各人に歓迎されているという感じを抱かせる。誰もがみな到着する時まで、このような方法で、全ての人々を歓迎の一行に加え、お互いに挨拶を交わすようにする。これは友情を増す上の冒險であるばかりでなく、お互いが知り合っている時のグループではもっと自由に話し合えるからである。

三、教室以外でも自分の生徒たちや彼らの友

達と知り合っている教師は教室内ではもっと
気心が通じ易い。若い人たちが年老いた者も
彼らが好意を抱いている人たちの言葉によく
耳を傾け、彼らのいうことを信じ、真似ようと
する。クラスの外では若者に尊敬の気持ちを持
て、あなたの意気の合った友人以上になるで
しょう。人々は全体の人間として一つの親族
関係で結ばれ、その関係が良好ならば、どん
な局面にあつてもうまくいくものである。

クラスに参加させること

一、円のまわりに集まること—殆んどどの
クラスでも二、三人の人たちが討論を独占す
る傾向にある。これは彼らが答えを知ってい
るか、話し好きか、さもなければこの方法で認
められようとする必要があるからである。他
の人たちは末席に座し、話すのを恐がり、嚇か
されたように黙っている。そして生徒たちは
出席したいという気持ちを抱いて出席し、無
言のうちに考えているが、全ての人たちは皆
時には発言したいなあ、と望んでいるのであ
る。

全ての人たちの討論に加えることの出来る
簡単な方法がある。グループの教師が指導者
は一つの質問を提示し、黒板に言葉を書くか

或いは解答を必要とする何かを書く。そうし
てから彼の右か左に坐っている人を指して
「さて、私たちは囲りにいるあなたの方のうち
の誰かに私が提示した言葉、質問、或いは提
案に就いて何かいって頂き度いので、ここに
いる小林兄弟からいってもらいましょう」と
いう。これならば自分の番になつてもそれ
程の勇気を必要としない。もし生徒が何も発
言しないようであつたら、外交上、次のように
いえばよろしい。「では、雨宮姉妹、あなたを
とばしますが、後になつてまた戻つて来ます
よ」。円陣の中の誰でも他の人から何の批評
も受けずに話す機会が与えられるべきであ
る。賢明なる教師はグループ全体で討論をす
る場合、どこ迄進展させ、どこで止めたら良
いのかを常に留意しながら進めていくことが
出来る。

円陣を形成して行うのと類似のもので、レ
ッスンを紹介したり、全体のレッスンの基礎
としてよく行われる方法にブレインストーミ
ングがある。ブレインストーミングでは誰も
が如何なる時にでも何の注文も付けられずに
発言出来る。次にこの方法でどのようにレッ
スンを進めていったら良いかの一例を示すこ
とにする。

二、ブレインストーミング

その日の目的に適い、主題に正しく導く言
葉や聖句、物事が選ばれなくてはならない。
例えば或るレッスンの目的が人前で話す時の
ある種の恐怖に打ち勝つよう、そのクラスの
会員たちに手助けをすることであつたとす
る。教師は太字で黒板に恐怖と書く。それか
らクラスの生徒たちに恐怖に就て何か一定義
する言葉でも、恐怖を抱かせる物、或いはそ
れに就ての質問等—をいってもらふ。全ての
人が話した後で教師は前以つて準備してあつ
た問題や生徒たちからいつてもらつた事項か
ら話を進めていく。彼は恐怖に二種ある事を
指摘した。(来月号に続く) 佐藤襄二

MIAの新年度計画と予定

MIAは九月からまた沢山の新しい会員を
迎えて開かれることでしょう。一九六二年
一九六三年度のMIAに於いては、また一段
と興味深く楽しいプログラムが計画されてお
り、私たちがMIAをわすれることが出来な
いようにしてしまふことでしょう。ここに新
年度のMIAテーマ、及び読書課程、カレン
ダー等を紹介してみましよう。

今年度のMIAテーマは「第一ニーフアイ第三章七節」です。すなわち「私は主が命じたもうことを行って行く。私は主が命じたもうことには、人がそれを為しとげるために前以ってある方法が備えてあり、それでなくては、主は何の命令も人に下したまわれないことを承知しているからである」

この聖句は、私たち一人一人がよく知っている聖句であり、且つ、私たちに信仰の確信をいだかせる言葉です。ニーフアイの強い信仰は、他のいずれの力にも屈せず、その確信は、主が、前以って備えたもう道があるからこそ命じたものだ、というこの言葉に支えられ、その勇氣は、他の兄弟たちを庄するものがありました。私たち若人にとって、主の道を歩む時、このニーフアイの持つていた勇氣と強い信仰、主への確信は模範とすべきものであり、MIAのテーマには真にふさわしい一句であると思います。毎週これを朗読し、よく心の中に記憶し、日々、この態度で誠命の中に義しい人として生きて行きましよう。

次にMIA読書課程を紹介しましょう。今年度は、高価なる真珠の「アブラハムの書」です。エジプトの地下納骨堂より発見され、パ

ピルスにアブラハムが自ら誌したものが譚訳されたものです。私たちが興味深く読むことが出来るし、アブラハムの受けた祝福や、天界に於ける英智のこと、また天地創造等、旧約聖書と共に読むと尚、理解しやすいと思います。第五章までですから、この一年間に読むことが出来ない人はないでしょう。

次にMIAカレンダーの主なものだけ紹介致します。(特に一般活動についてののみ)

九月六日「オーブニング・ソーシャル」

九月十三日「クラス選択の夕べ」

十月十五日「ハロウィーン・パーティー」

十二月二十日「クリスマス・パーティー」

一月三日「新年会」

二月二十一日「演説祭」

三月十四日「花嫁と花婿の夕べ」

「キッチン・カーニバル」

四月十八日「音楽祭」

五月十六日「家族と共に」

五月三十日「ゴールド・アンド・グリーン・ボール」

六月二十七日「楽しい今宵」

七月二十五日「開拓者記念祭」

八月一日「貴方の趣味」

八月八日「スポーツの夕べ」

八月十五日「演劇祭」

八月二十二日「ゲームで過そう」

八月二十九日「ロード・ショウ」

この予定カレンダーを見ると一つのことに気がつくと思います。そうです、最後の八月は、レッスンとグループ活動が全然ありません。七月の終りから八月いっぱいには、私たちMIAの楽しい夏のプログラムに入るわけです。各支部で海へ山へと行く計画もあるでしょうし、地方部主催のキャンピングもあることでしよう。また多くの学生は夏休みに入って、スケジュールも沢山あることでしよう。私たちのMIAでも、夏のレクリエーションを愉しむ計画が立てられています。来年の話ですので、オニが笑っている、かもしれませんが、今から楽しみですね。

それに今年は、年令別クラスで一つの変った計画もなされています。くわしいカレンダーは八月中旬までに伝道本部より出版されます。地方にあって間に合わない支部があると困りますので、八月の予定だけに記しておきます。

九月六日 一般活動「オーブニング・ソーシ

ヤル

この夜はダンスです。新しい会員が沢山集

るようにMIAの会長会及び全役員・教師はその責任を持ちます。良く宣伝し、またこの機会に各自がお友だちを一人つれて来て紹介するようにしましょう。また軽い飲物を出しても良いと思います。会長は、ていねいに挨拶して、自分の顧問と書記を紹介しましょう。

九月十三日 一般活動「クラス選択の夕べ」

この夜の為に各レッスンの教師、グループ活動の指導者を確認しておいて下さい。

そしてレッスンのクラスは年令別であること、そしてその教師たちとテキストの紹介、またグループ活動はどのようなものがあり、その指導者は誰か。これは、少しづつ時間を受け持つて、各グループで、どんなことをやっているか紹介すると面白いでしょう。例えば、ダンスのクラスは或るカップルが出て、デモンストレーションをやるとか、音楽のグループはコーラスや器楽演奏をやるとか、演劇のグループは気のきいた寸劇をやるとか、そして演説のグループでは、宣伝効果たくみに、しゃべりまわるとか……色々アイディアを生かして、活動のクラスを紹介してみて下さい。そして、わすれないようにスポーツの指導者も紹介して下さい。そして、すべての

ことが終わりましたら、最後に紙をくばり、レッスンと活動に分けて、どのクラスに入るか書いて提出して頂くと良いでしょう。或る支部によつては、一年間連続でなく、半期制をとっている所もあり、また、一ヶ月交替で活動のクラスの変る支部もあるでしょう。でも一応、どのクラスに登録するか選択して頂く

と良いと思います。

レッスンです。

エンサインは、「名譽の夜」第二部と選挙。「エンサイン・ローレルの手引き」五十八頁参照。

ローレルは、アダパールについての説明と支部選挙。「エンサイン・ローレルの手引き」百七頁～百八頁参照。その後、グループ活動です。

(栄子記)

九月二十日

年令別クラス、Mメン、グリーンナーのクラスは、テーマについてのレッスンです。教師の方は、モルモン経についての参考書を調べてテーマについてレッスンを行って下さい。またエンサイン・ローレルは分れます。エンサインは、エンサイン・プログラムの紹介と「名譽の夜」第一部です。これは「エンサイン・ローレルの手引き」四十一頁参照。ローレルは、ローレルプログラムの紹介と、「観迎の夕べ」です。エンサイン・ローレルの手引き百三十三頁参照。年令別クラスの後、グループ活動を行います。

九月二十七日

Mメン・グリーンナーのクラスは読書課程の

MIA年令別クラスのテキスト紹介

一九六二年～一九六三年度用のMIA年令別クラスのレッスン用テキストは八月の下旬に伝道本部より出版される予定です。各支部に於いて、「クラス選択の夕べ」の時登録されました人々に、各々のクラスに於いて必要なテキストを購入するように伝えて下さい。特に「エンサイン・ローレルの手引き」は、役員用ではありませんから、クラスの全員が持つように進めて下さい。(尚エンサイン・ローレルの手引きは昨年と同じものが使用されます。)

Mメン・グリーンナーのクラスに於いては、「偉大なる考え」を使用します。これは幾人かの人によって書かれ、第一部「聖書よりの偉大なる考え」第二部「信仰生活の中の偉大な

考え」第三部「世の中の考えと現代生活の中の偉大な考え」とより成っていて、大へん興味深く面白い本です。特に第三部に於いては、自然科学や、アインシュタインの数学式等出て来ますので、若い青年たちには、興味深くレッスンを受けることが出来るでしょう。価格については、まだわかっておりませんが、ここのテキストは、クラスの全員が持つべきもので、本伝道部に於いても、始めて購置出版されるものです。

エンサインとローレルのクラスに於いては、昨年と同じ「エンサイン・ローレルの手引き」を使用致しますので、今でもすぐに購入することが出来ます。定価は一部百五十円です。伝道本部へお金をそえて申し込んで下さい。またレッスン用テキストは、今年度は「我らは奉仕する」を使用致します。一九五九年（一九六〇年）に使用したことがあります。

今年出版されますものは、古い本と、章の順序が違いますが、内容は同じものです。クラスの全員が持つ様にして下さい。エンサインとローレルのクラスに於いては、三つのテキストが三年間順に繰り返され、それで十八才を過ぎて、Mメン・グリーンナーのクラスに進むようになっておりますので、テキストも

その様になるわけです。（来年度には、「我らは信ずる」を使用しますが、三年間使用のテキストが合本されて出版される予定です。）エンサイン・ローレルのテキスト「我らは、奉仕する」の定価は、まだわかりません。八月中旬伝道本部より出版されますが、MIAテキスト定価表と注文書が各支部長あてに、配布されますので、それを見て伝道本部に、支部長会を通して購入して下さい。

尚書記は、MIAの新年度にあたり、記録簿を新しく購入して下さい。購入する方法はMIA会長に伝え、MIA会長は支部長を通して伝道本部に注文して下さい。

尚月間レポートの用紙のなくなった支部は支部長会より、それを伝道本部に伝えて下さい。

海水浴とキャンプについて

八月になると、どの支部でも、楽しい海と山の計画を持たれることでしょう。それと共に色々な事故も起きています。MIAが行う、海水浴とキャンプについて次のことを守って下さい。

一、日程と場所の指定について支部長の認可を受けること。

二、リーダーは経験のある神権者を選ぶこと。

三、リーダーの他に、数人の実行委員を作り、出来れば現地を一度視察しておくこと。

四、出発前と、帰途前に全員祈禱会を持つこと。

五、ナイフ、ナタ、火の使用について、充分注意し、高年のMメン・グリーンナーがその責任を持つこと。

六、九時にはこの日のプログラムを終り、おそくも十時には就寝すること。

尚女子の水着について、ビキニスタイルや極端なレイ・ルック（今年流行）は、MIA服装の標準の中で許可されていません。定例集会ではない、レクリエーションに於いて、スリーブレスやショート・パンツはかまいません。（一九六一年七月号MIAリーダーを参照して下さい。）女子役員はグリーンナーとローレルのクラス員にこのことを伝えましょう。



末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹

32

第三部 オハイオおよびミズーリ時代

第十九章 ジャクソン郡からの追放

(千八百三十三年)

十一、暴徒自ら契約を破る。 悪漢どもには少しの節義もないから、暴徒はこの契約を守らなかった。彼らはたえず出てきては教会員の家の窓をこわし、機会があるごとに悪口を言った。しかしながら、これらの攻撃を合衆国の有識者が見落すことはなかった。ミズーリ州フエイヤットで出版されていた「ウェスターンモニター紙」は、始め暴徒に対して友好的の精神を示していたが、後になって彼らの行為を非難し、彼らの非行に対して賠償を求めよと「モルモン教徒」に忠告をした。その他の新聞紙も同じような見解をとったので、暴徒の者たちは「もし一人のモルモンといえども、法律その他に訴えてその人格、身体、財産に対する賠償を求めんとするならば生命がないぞ」と宣言した。

十二、ダンクリン知事に訴える。 数多の敵対行為が起った時に、ミズーリに在った兄弟たちはオリヴァ・カウドリをカートランドへ遣わして大管長へ報告をさせ、且つまた将来の行動についてその意見を聞かせた。大管長会はミズーリで苦しめられている会員の身の上を悲しみ、その他に在る兄弟たちに与える指令を持たせてオルソン・ハイドとジョン・ゲールドの二人を派遣した。この二人が到着すると間もなく必要な準備が調ったので、ウィリアム・W・フェルプスとオルソン・ハイドの二長老は、ダニエル・ダンクリン知事にあてた千八百三十三年九月二十八日付の嘆願書をもってジェフ

アソン市へ遭わされた。二人のたずさえた嘆願書には末日聖徒の受けた損害が明瞭に述べてあり、またミズーリに在る教会のほとんど全会員がこれに署名をしていた。

十三、知事の返答。十月十九日、ダンクリン知事は教会の会員たちの覚え書に返答をして彼らの苦情を法廷に訴えるように忠告した。

「いかなる市民といえども、彼らの苦情を―それが実在するにしても実在しないにしても―彼ら自身の手で正す権利をもつてはいない。このような行為は社会の存在そのものに対する打撃であり、また社会の依つてもつて立つところの基礎を破壊するものである。……諸君の巡回裁判区の判事は治安の保護者である。故に、誰にせよ諸君の一人が自分の生命はおびやかされている、従つて自分の生命は危険に類しているという口供書を彼に提出するならば、犯罪者を逮捕して公安を維持するのは彼の義務である」と知事は言った。知事は聖徒のために「法廷が開放されていることを疑ふ余地がなかった」。

十三、忠告は役にたたなかった。普通の状態であれば知事の発したこの忠告には何らかの価値があつたことであろう。しかしながら、この時の事情は普通と全く違つていた。ジャクソン郡裁判所の判事サムエル・D・ルカス、郡書記のサムエル・C・オーエンス、治安判事のジョン・スミス、同じく治安判事のサムエル・ウェストン、保安官ウィリヤム・ブラウン、保安官代理トマス・ピッチャー、郵便局長ジェームス・H・フラワノイ、副知事リルバーン・W・ボッグズ等とはことごとく暴徒の指導者であつて、ことにボッグズの如きは常に彼らの黒幕となつてその悪事をかけから助けていた。「モルモン教徒」が知事の忠告を受け入れることは、もし彼らが裁判所

に訴えることを許されたとしても、その裁判は公然と名乗っている敵の力で行われることになるであろう。

十五、聖徒たち弁護士を雇う。それにもかかわらず、聖徒たちは知事の忠告を納れてこの事件を争うために弁護士を雇つた。これらの人々はウィリアム・T・ウッド、アモス・リーヴ、アレキサンダー・W・ドニファン、デビッド・R・アチソン等であつて、一千ドルの金でこの件を訴願し且つ最後までやり通すことを承諾した。この時、その金はウィリアム・W・フェルプスとパートナーリッジ監督の手から出てギルバート・ホイットニー商会が裏書きをしたことに注目されたい。しかしながら、この訴訟によつて教会の会員はほとんど利益を得なかつた。

十六、暴徒らひきつづき活動する。「モルモン教徒」が裁判所へ訴えるぞということが知れるや否や、暴徒らは再び戦いの準備をしはじめた。

十月二十一日の夜、約五十人から成る略奪者の一隊はインデペンデンスから遠くないビッグブルー川の西にある教会の支部へ向つて進んできた。そこで彼らは多くの家の屋根を剣ぎ一部分破壊した上に数人の男を惨酷に鞭うち、女子供に恐怖を与えたから、女や子供は安全のため彼らを避けて逃げるよりほかはなかつた。あくる十一月一日、インデペンデンスを去ること約二十四キロのところにある大草原の上の支部に別の攻撃がかけられた。同夜暴徒の別動隊はインデペンデンスに於ける聖徒の家を襲つてその多数を破壊し、ギルバート・ホイットニー商会の倉庫にあつた品物を街路上に散乱させた。このときリチャード・マッカーティという男は倉庫へ乱入して財産に損害を与えている現場を捕えられ、治安判事サムエル・ウェ

ストンの前へつれて行かれた上に告訴された。ところがウェストン判事はこの告訴をはねつけてとり上げず、マッカーティを釈放した。するとその翌日マッカーティは自分が不法な行いをしている最中に捕えた証人たちを反対に捕縛させ、不正な投獄をするために審問を受けさせた。するとマッカーティを釈放した当のウェストン判事はこの男一人の証言をとりあげて証人のギルバート、モーレーおよびコリル等を有罪であるとし、この三人の者を獄に投じたのである。ジョン・コリルは言った「われわれはあの男の倉庫破りに対する逮捕令状を得ることはできなかったけれども、あの男は自分を捕えさせるかわりにわれわれを捕えさせる令状をとってしまった」と。

十七、ブルー川の戦い。聖徒たちに加えられたこれらの攻撃はくり返してつづけられた。それで治安令状を得ることが度々試みられたが、暴徒を恐れて判事は誰一人令状を出そうとしなかった。千八百三十三年十一月四日、月曜日、暴徒の一隊はビッグブルー川に集って財産を破壊し始めた。この時教会の会員である十九人の男が防禦のために集ったが、暴徒の人数が勝っているのを見てひき返した。敵はこの企てを知って直ちに「モルモン教徒」を追跡したが、彼らはちりぢりに逃れて身を全うした。ところが、大草原から来た兄弟たちのうち約三十人以上が十七挺の銃を以て武装し敵に接近したから戦いが始まった。暴徒らは間もなく仲間の中の二人、ヒュー・L・ブラジャーとトマス・リングヴィールの死体をのこして遁逃した。この時「モルモン教徒」の中でもアンドルー・バーバーは致命傷を受けてその翌日死んだ。フィロ・ディップルもまた重傷を蒙ったがニューエル・K・ナイト長老の按手によってほとんど直ちに癒えた。

十八、暴徒の市民軍。

ブルー川の戦いの結果興奮はいやが上にも高まった。千八百三十三年十一月五日、副知事リルバーン・W・ボッグズの教唆によって去る七月二十三日に暴動を起した首領の一人であるトマス・ピッチャー大佐の指導する市民軍が出動した。この市民軍は聖徒たちの保護をするために招集されたのだと表向き言われていたが、どこから見てもそれは暴徒であつてその兵たちの中には教会に対する最も猛烈な敵が多く居た。ピッチャー大佐は聖徒たちがその武器を放棄することを要求した。しかし、聖徒たちは、彼らの敵もまた武装解除をしなければ自分たちも武器をすてないと言った。ピッチャー大佐はすぐとこの提議に同意し、副知事のボッグズもまたこれを保証した。今一つの要求というのは、一昨日の戦いに参加した或る兄弟たちの身柄をひきわたし、殺人のかどで裁判を受けさせるというのであった。聖徒たちはこれら二つの要求に従った。

十九、誤って信頼する。

そこで聖徒たちは副知事の保証に信頼を寄せ、これ以上攻撃を受けることがないとやや安心して各自の家へ帰った。ところがこの信頼は始めから誤っていた。というのは、教会の会員たちを無防禦の立場において、それから会員たちを郡から追い出そうというのが州の役人そのほか暴徒の首領たちのずるい企らみであつたからである。そこで時を移さず彼らは実行にとりかかった。暴徒の一人一人は武器を全然とり上げられなくて、聖徒からとり上げた武器は再び使用するために敵の間にくばられた。その翌日、六十人以上に及ぶ悪漢の一味どもは一軒一軒襲つて男たちを鞭うち、女子供には銃口をつきつけて家の中から追い出し、家の持ち主がけつして戻つてこないように一軒一軒に火をつけた。この時

暴徒による数回の襲撃によって二百軒以上の家が破壊された。

さきに殺人のかどで身柄をひきわたされた数人の男は、一日一晚拘留された上にひどい虐待を受けた。それから彼らは暴徒の首領ピッチャー大佐に「とうもうろこし畑」へつれ出され「失せろ!」と言われた。それはどこへでもすぐに立ち去れという意味であつた。

二十、脱出した聖徒。 こうした攻撃が数日の間つづいたが、暴徒の部隊を指揮した者の中には数人の牧師が居てこれらの悪行をやつていた。十一月十七日までは、すでにミズーリ川の川岸には極度の混乱のうちに集つてきた避難民が列をなしていた。彼らは取るものも取りあはず逃げ出してきたのであつた。千二百人の人々がこのようにして極寒の最中、暴風雨のさ中に追い出され、寒さと風雨をしのぐ場所を求めてさまよわねばならなかつた。多くの者が寒さと雨風のために、さもなければ容赦なく彼らに加えられた虐待のために死んだ。また多くの人々は、かき裂かれた足からしたたる血の跡を凍りついた刈り株畑の中にのこして逃げて行つた。この脱出した聖徒たちはとなりの各郡に難を避けたが、そのうちいくつかの郡からは彼らを迎えるのを喜ばない住民の力に押されてまたほかの所へ逃げて行かねばならなかつた。しかし、ジャクソン郡の北方、川をこしたま向うのクレー郡ではしばしの間ある程度親切に迎えられた。

二十一、補償を求めようとする。 聖徒たちはその弁護士たちを通じて、また直接ダニエル・ダンクリン知事に請願をしてジャクソン郡にある自分たちの財産をとり戻そうとした。知事は聖徒たちの請求が正当であることを認め「相当な力」を喜んで提共しようと言つた。しかし、聖徒たちがもとの土地へ一旦戻つてから、後の保護を

する力は自分にはないと言いきつた。また知事は、検事長アル・W・ウェルズが明言しているように、聖徒たちの復興を助けるために進んで聖徒たちを数隊の市民軍に組織しようとしたが、聖徒たちは、このようにしたらそれは敵を一層激怒させるだけであることを知つていた上に、一旦もとの所へ帰つた時に彼らの生命を保証してくれる何の保護もなかつたので、こうした申出でを受け入れることはできなかった。

二十二、法律を守らせようとするこつけない努力。 最初、州の役人たちは追い出された聖徒たちをもとの所へ戻そうとするつもりであつたらしいが、役人たちはこの始末におえない、しかし固く決意した「聖徒らの敵」と抗争する勇気を明らかに欠いていた。重立つた多数の長老が州のために呼び出されて、インデペンデンスで千八百三十三年二月に開かれる法廷に出た。二月二十三日、アッチソン大尉の率いる約五十人の兵から成る「リバティーブルー」の一隊に守られて、これらの証人はインデペンデンスを指してミズーリ川をわたつた。

その夜一行は森の中に野営した。アッチソン大尉は敵があらわれたという警報を受けて、アレン大佐には二百人の市民兵を特派するように、またリバティーにはもつと弾薬を送るよう特使を出した。あくる朝早くこの一隊はインデペンデンスに進んだが、朝食後になつて州検事のamos・レリスと検事長のアル・W・ウェルズの二人がやつてきて証人たちに向い、告訴をする望みがすべて絶えたことを知らせた。

扶助協会 レッスン

「神學」千九百六十二—千九百六十三年度レッスンプログ

「教義と聖約」

今年度の八つのレッスンの中で勉強する啓示のうち一つだけを除いて、あとはみな千八百三十一年の八月に受けたものであります。これらの啓示は一つだけ別にしてみなミズーリ州で受けました。モルモン経が出版されて以来、教会の会員はみな、新エルサレムといわれる約束の都シオンが建てられる地を知りたいと待ちのそんで居りました。モルモン経にあらわれている昔の予言者たちはすでにこの新エルサレムはアメリカ大陸に建てられるにちがいないと言っていました（イテル書十三〇六参照）。また聖書の中に出てくる予言者たちも、神の民の集合する地となるこの聖なる都のことを語り、そのかがやかしい光栄を唱いました。主なる神は「この神権時代」に、人々は平安を求めるであらうが、平安はシオンのほかにど

こにもないと啓示をなさいました。この聖なる都の見事な様子は「福千年」の時代に世の人々に知られ、この都から出る正しい律法すなわち「福千年」の時代に地球を支配する律法は歓呼の声で迎えられるにちがいありません。将来シオンの都のあるべき地、すなわちイエス・キリストが君臨したもうとときに世界の首都となるべき地はすでにきまっています、末日聖徒たちはそれを建てるにちがいありません。（ミカ書四〇二、ニーフナイ第三書二二〇二一—二二二三参照）。

当時（千八百三十一年）ミズーリ州に予言者が留っていた短い間に、主なる神はシオンの都の建てられるべき土地の位置、将来に於けるかがやかしい光栄などについて啓示を下さり、また、シオンの都の建設、広い意味ではシオンを建てるための働らき、すなわち神の御国の総目的をおし進める働らきをするために一生けんめい用意

をすることを、誓約をした教会員たちに任すと啓示をなさいました。

また聖徒たちはすべてのことに命令をされなくても、自分自分の能力を発揮せよという大切な真理が別のレッスンで明かにされています。その国の法律に従うということとは従順な教会員の特色でなければなりません。この時に、度々討論される大切な啓示の一つが聖徒たちのために下りました。安息日を聖くするに当って聖徒たちの守るべき八つの義務が或るレッスンに論じてあると、別のレッスンでは安息日の誠命とそのほかの誠命を正しく守ることによって与えられる数々の祝福を主として論じてあります。

現在と同様、この時期に於ける聖徒の中には、自分たちが隣人のためになるよう各々の才能をあらわすために教会へ召されたのだ、ということとを全く理解しない人々がありました。このためにこれらの人々は悔い改めをせよといわれましたが、これによって現在の私たちが、この問題が論じてある啓示から利益を受けることができるでしょう。

別々のレッスンでは末の日にあらわれた「しるし」の一つが論じてあります。これは予言者の一行が東部からミズーリをさして旅行しているときに出逢った異常な状態から起った「しるし」であります。「教義と聖約」の中に言っている、予言としての警しめによって、忠実な会員たちに主なる神がその民をいつも心にかけておいでになることと、主の御業は地上に於て結局勝利を占めることが一層よく解ります。そしてこれらの予言が今や成就しつつあるということは、末の日の「しるし」をキリストの再臨の先ぶれであると見ている人たちによくわかつています。

今年度のおしまいの方の二つのレッスンは「教義と聖約」の六十三章から出ています。始めから世の中からは、自分の好奇心を満足させるために「しるし」（奇蹟）を求める人々がありました。末日聖徒イエス・キリスト教会の中にもこのような人々がないわけではありませんが、私たちはいろいろな「しるし」が教会の会員に知られるであらうということと、主なる神は福音が回復された証拠として、また証するものとして、多くの「しるし」を世の人々にお見せになつてゐることを学びます。聖

徒たちは将来に関する多くのことを知っていたいましたから、この啓示はまた末の日に關してもっと多くのことを知っていたが、聖徒たちの強い希望を満足させました。

このレッスンはまた、神聖なことに於いて語るときはひじょうに心を用いなくてはならない、ことを教えます。人々は敬けんの念を欠くときには罪ありとされるからであります。

千九百六十二年—千九百六十三年にかけて引きつずき勉強するレッスンは次のような題と目的がつけてあります。

第四十一課 シオンの中心地(「教義と聖約」五十七章、五十八〇—一四)

目的 昔の予言者たちがアメリカ大陸に新エルサレムを先見したこと、およびシオンに關する主の約束はかならず成就することを学ぶ。

第四十二課 善い働らきに從事する(「教義と聖約」五十八〇—五十六十五)

目的 主なる神の誠命に従うことには、シオンのために働らくことが含まれていることを示す。

第四十三課 世の働らきを休んで

礼拝をする日(「教義と聖約」五十九〇—一十四)。

目的 世の働らきを休むことと安息日について主なる神の仰せになったことを学ぶ。

第四十四課 神の誠命を守る時のよい酬い(「教義と聖約」五十九〇—五十二十四)

目的 神の誠命を守る忠実な人々に対して神がなさるいろいろな約束について学ぶ。

第四十五課 いろいろの才能と証詞(「教義と聖約」六十章、六十二章)

目的 いろいろの才能は、神の御力を証するために神に奉仕をするに當って用いるべきであることを理解する。

第四十六課 水の上と地の上(「教義と聖約」六十一章)

目的 末の日の「しるし」の一つが「水の上にある破壊」であるといえ、主なる神は忠実な人々に警告を与えてお守りになることを学ぶ。

第四十七課 「しるし」を求める人(「教義と聖約」六十三〇—二十一)

目的 信仰をもっている人々は主なる神によって義しいとされるが、「しるし」を求める

人々は主なる神から罪に定められることを学ぶ。

第四十八課 警しめの言葉に用心をせよ、また神聖なものを輕んじてはならない(「教義と聖約」六十三〇—六十二—六十六)

目的 シオンを贖うためには平和な方法をもってせねばならなかったこと、多くの戦争が救い主の来りたもうまで世の人々をなやますこと、「福千年」の間平和な時が来ること、神聖なものをけがすことは重大な罪であると知ること等を学ぶ。

「仕事会」

千九百六十二年—千九百六十三年度レッスン予告

「末日聖徒の家庭」

目的 「末日聖徒の家庭がどのようにして家政の模範を示すことができるかを教える。」

「家庭は永遠である」とは、末日聖徒の家庭をこの世にあるほかのあらゆる家庭とは別の位置においている信念の一つであります。

末日聖徒はその家庭をして、愛と善意と善いものを創り出す働らきとが共になって、両親とその子供たちとの間に永遠のきづなを強める

すばらしい家族生活の環境にしたいと思っています。今日のいわゆる「家庭」の中には、家族の人々がただ入って来て、何かを満してまたばいとして行く「給油所」にすぎないものがあります。またほかの「家庭」は、そのおもな機能が、すぐさまどこかほかのところへ家の者が出て行くところとしての「早交りの場所」であります。

末日聖徒は、家庭をからにして、離れたところへ家族の興味を分散させる「分裂を起す力」を生じさせないようにいつも用心をしています。そして、あらゆるものが家庭を中心にして廻転するようにいつも力をつくしています。そこで、その家庭は家族の一人一人が安全と理解を感じる所となり、善い生活につきものである末日聖徒の価値が養われるのであります。このような家庭は偶然にでき上るものではありません。このような家庭をつくるには勉強と計画と上手な経営とがいります。

それに必要なほかの要素は昔のことわざの中に暗示してあります。すなわち「労働者は手で働らく、職人は手と頭で働らく、芸術家は手と頭と心で働らく」と。またことに、理想的な末日聖徒の家庭

の目的を完全に実現するために、家族の者が一人のこらずその手と頭と心で働かなくてはなりません。

開拓者の時代に、母親たちは自分たちのもつていた「料理の秘訣」をその娘たちに伝え、また若い花嫁たちは母親の生活様式の通りにその家庭生活を営んだのでした。

当時の主婦たちは豊富に時間をもつていましたが、お金は僅かしかなく働いたための設備も僅かしかりませんでした。まったく「いくら働いても女の仕事はおしまいにならなかった」のでした。ところが今の主婦は多方面に役割をもつてゐるために家政を見る時間がある昔よりもありませんが、昔よりも多くのお金と、開拓者時代の主婦が夢みたよりも多くの設備をもつてゐます。今の主婦たちの仕事は急いですることができ、しかも昔よりも面白くて、奴隷の仕事でなく、一層複雑である上に前よりも容易であります。今は新式の市場で買物ができ、新式の食物とそれを製造する新しい方法とがあります。また主婦が、今日家政という職業で十分に効果を上げようといわれるなら、新しい機械を上手に使つて目的を達することができま

す。

本年度に学ぶ八つのレッスンは末日聖徒の理想にくらべて各自の家庭を評価させる健全な基礎を扶助協会の会員に与えるために、多くの源泉から知識を引き出すにちがいありません。また会員が改善をする何かの目標を置く役に立ち、それらの目標に到達するために家族の人たちと一しょに働かなくては、家庭経営者として何らかの熟練を得させる役に立つていらいありません。各々のレッスンで討論をするに當つていろいろ違った方法を用いるでしょう。図表、黒板、家庭の評価試験、社会劇、実地教授、秘密の座談会、討論会などの方法が示されるでしょう。各々の場合、示された要点を論じてみかきをつけるために、また新しく提案されたことを実行に移す方法について考えを聞き合うために、レッスンの後の作業時間中に「自由に考えをいい合う」集りがあります。

私たちの家庭がいつも清潔で美化されておき、家族のいろいろな活動に適当な環境となるように、私たちの家族はその時間表を組織しなおす必要がないでしょうか。私たちは収入以内の生活をし、私

たちの財源をもつともよく利用しているでしようか。家族の一人一人は理解と、利己的でないことと愛と、自尊心と、責任ある人であることについて成長をしているでしようか。レッスンにある考察は会員の皆さまがこれらの質問について何を為すべきかを知る役に立つにちがいありません。

千九百六十二—千九百六十三年度に学ぶレッスンの考察には次のような題目と目的とがついております。

考察その一「末日聖徒の家庭はよく組織されている」(一)
目的—上手な家庭の経営は幸福な、健全な家族関係から始まることを示す。

考察その二「末日聖徒の家庭はよく組織されている」(二)
目的—私たちの家庭の価値は、はっきり立てた目標に向つて働くことによつて知られることを示す。

考察その三「末日聖徒の家庭はよく組織されている」(三)
目的—自分の時間を組織立てる価値を理解する助けを与えること。

考察その四「末日聖徒の家庭はよく組織されている」(四)

目的—決定することが上手な経営の中心であることを示す。

考察その五「末日聖徒の家庭は清潔である」(一)
目的—清潔でよく配慮された家庭はその美しさを高め、また霊を高尚にすることを示す。

考察その六「末日聖徒の家庭は清潔である」(二)
目的—清潔でよく配慮された家庭はその美しさを高め、また霊を高尚にすることを示す。

考察その七「末日聖徒の家庭は節儉の模範である」
目的—家族の人々は働くことと財源を賢く使用することによつて安全という感じを知ることができるとを示す。

考察その八「末日聖徒の家庭は訓練の場である」
目的—訓練と子供の成長に及ぼす家庭の力が大切であることを示す。

「社会科学」
千九百六十二—千九百六十三年度レッスン予告
「神の律法と教会制度」
目的—神の子供らが日の栄の最高に昇るために、神権の権能によつて運営される神の律法を

理解すること。

人類はこれまでいつも集団となつて手をつなぎあいながら生きてきました。こうした状態があるところには常にある形の規定が一同の同意でつくられております。これは集団の相互作用に一定の方向を与えようとする、もしくは管理をしようとする人類の努力を示すものであります。この規定の種類には、集団の人々が単に同意をするという程度のもから、少数の人々が完全に支配をするという程度までいろいろあります。そしてこのようなものから、集団がつくり出すことのできる最も効果的な形の制度が発達してきました。

末日聖徒イエス・キリスト教会は、人類は神によつて、神の姿に似せてつくられ、神の能力を十分に表わすように助けを与え指導を与える神の知恵を受ける資格があると主張しています。人類は、創造主である神から親しく「成長と進歩」をするための訓示を受けてこの地球上に置かれました。

神から「自由意志」を与えられ、選択をすることが保証されている社会に住むように考へてつくられましたから、人類は神の指図に対していろいろちがった反応を示し

ております。人類は自由に選ぶことによって、ある場合には彼が「永遠の父である神」の霊の子供であるとはほとんど認められないほどの行いをしております。

人類は、神の知恵と勧告によらないで自分の知恵で物事をするように選んだときには、いつも「試行錯誤」の方法（やってみて悪かったら、また次のことをやってみてよいか悪いかを試す方法）によってよいわるいを知るほかはありませんでした。このような状態では、神の律法に従うことによって自分のものとすることができる堅実な向上が得られず、あとずさりの時が多い遅々たる進歩しか得られませんでした。しかしながら人類が神を発見して、神のみこころに一致するようになった時に、人類の進歩は神の栄光を指し、つとまらずに向上して行つたのであります。これは創造主である神の御計画であります。私たちは、神がこの地球と、人類を含むすべての生物の創造主であると信じています。私たちは、創造が単なる偶然的の排列ではなくて、そこに一定の目的があったと信じています。この目的には、人類が学問と理解と、神の啓示である「永遠の

生命」に達するに必要な原則と律法と誠命の実践により、完成に向つて自分の才能を発達させる、すなわち自分の救いを苦辛して働かざるを得ない機会を与えることが入っていました。「永遠の生命」を得るための原則と律法と誠命とは神のみこころであり、神の律法であります。

三年にわたるこの「社会科学」のレッスンでは、神の教会の制度としてあらわれた神の律法について勉強するはずであります。その勉強は「神の律法」と「教会制度」、および教会組織と教会の構成および人間にかかわる教会制度の作用等に見られる神の律法のあらわれ」との間にある関係の中に示されている女性の責任と特権とを強調して、扶助協会の会員がすべて神の律法をもつとよく理解するようにになるにちがいありません。

千九百六十二—千九百六十三年度のレッスンは「教会制度の基礎」という題目であります。その目的は、教会制度が神の律法にあらわれた神の知恵にもとづいており、人類の幸福のために神権の権能によつて運営されていることをはっきり示すことであります。そして各レッスンの題目と目的とは次の

通りであります。

第一課「神聖という意味」

目的—神聖な(神の)律法を定義することによつて、教会制度の神聖な性格をしつかり心に銘じさせること。

第二課「神の律法と人類の幸福」

目的—神の律法は、神の子供らの利益と幸福のためにつくられたことをはっきりさせる。

第三課「神の律法と人類の幸福」

(つづき)
目的—教会制度にある組織と秩序の大切なことをはっきりさせる。

第四課「神の律法と神権」

目的—神の律法を遂行するときの神権の地位と重要性とを説明する。

第五課「人類の『各神権時代』に於ける神の律法の適用について」

目的—神の律法が太初から行われていたことを悟る助けを与えること。

第六課「神の律法に段階があること」

目的—人類に神の律法を適用するのにあらわれた神の知恵を示す。

第七課「総括」

目的—教会制度の基として神の律法が大切であることに注意を集中させる。

訪問教師のメッセージ

千九百六十二年—

千九百六十三年用

「教義と聖約」にもとづいて実践する真理

本邦度の訪問教師のメッセージ「教義と聖約」にもとづいて実践する真理」は、「教義と聖約」の第五十八章から第六十二章までが主題になっています。これらの啓示（五十八—六十二章）が下った当時の事情を描写して、予言者ジョセフ・スミスは初期の教会に於て「如何様にもわれらの救いに関係あるすべての問題につき主の御言葉を得んものと非常な心配があった」ということを強調しました（教会記録歴史、第一巻二〇七頁参照）。

本年のメッセージに主に強調してあるのは、私たちの救いに影響をおよぼす生活の原則についてであります。本年のメッセージは、効果のあるまた何かよいものを生ずる働らきによって得られる数々の個人的祝福をよくに強調しています。たとえば、私たちは善い働

らきについて熱心に従事していかなくてはならないということを強く言っております。また、義しい働らきは豊かな個人の間の酬いを与えることを指摘し、時間という賜物がひじょうに価値のあることを私たちに警告し、永遠の価値をたずね求めるに当って時間を賢明に使用と勧めています。

これらのメッセージは、私たちに快活であり、よく祈り、忠実であるように勧めると共に、自ら率先して行うに当っては熱心であることが大切であると指摘しております。また各個人の救いは、一人一人が永遠の原則である悔改めをいかによく実行するかにかかっているとして強く言っています。これらのメッセージは「教義と聖約」にあるすべての教えがそうであるように、永遠の真理について語っているとはいへ、近代に与えられた啓示の言葉でありますから、私たちの日常の生活にたぐいよくあてはめることができます。もし私たちがその教えに従うなら、私たちはそれによって自分たちのもっている問題を正しく解決することができる、またこの世の生活ばかりでなく永遠にわたって喜びと幸福を与える固い基の上に生活をたてる

ことができます。

千九百六十二年—千九百六十三年度のメッセージとその目的とは次の通りであります。

メッセージ第四十一「人は熱心に善い働らきに従事しなくてはならない」（教義と聖約五十八〇二十七）

目的—人が熱心に従事することのできる最も善い働らきとは、ほかの人々に愛と奉仕を施すことであることを説明する。

メッセージ第四十二「正しい業を行ふ者はよき報いを得」（教義と聖約五十九〇二十三）

目的—正しい生活を確立する助けとなるべくべつの性質と働らきとを述べる。

メッセージ第四十三「心安かれ」（教義と聖約六十一〇三十六）

目的—快活であることは福音の教えの中でも大切な要素であることを指摘する。主は人々が快活であることを欲したもう。

メッセージ第四十四「汝らは時を空しく過すことなかれ」（教義と聖約六十一〇十三）

目的—人はその時間を賢くまた最もよく利用することが大切

であることを強調する。

メッセージ第四十五「汝ら誘惑に陥らざるよう常に祈るべし」（教義と聖約六十一〇三十九）

目的—祈りは誘惑にうちかつ助けとなるため主が人に与えたもうお守りであることを示す。

メッセージ第四十六「およそすでにその罪を悔い改めたる者は赦され、主なるわれもはやこれを忘るべし」（教義と聖約五十八〇四十二）

目的—悔改めという神聖な原則によって、人がいかにめぐまれているかを示す。

メッセージ第四十七「われ汝らにすべての事をことごとく命ずるは至当ならず」（教義と聖約五十八〇二十六）

目的—人が率先と自主独立の性質を発達させるのは自由意志の行使によることを強調する。

メッセージ第四十八「彼ら忠信ならば主の加護あり。また主なるわれ彼らと共にあらん」（教義と聖約六十一〇十）

目的—主の与えたるもう守護の霊が、人生の問題に対抗する力をつけることを強調する。

千九百六十二年千九百六十三年
度レッスン用

視覚教材（教授用の道具）について

「見たたり聞いたたりする方がいいですね」

視覚教材を賢く巧みに使うなら、扶助協会で教わるレッスンはみんな生々としていてつまでも興味を失わないにちがいありません。現在、視覚教材は教育上の大切な道具として採用されており、口で説明されているものを目で見る事ができるなら、ずっと早く覚えることができるという事実を思い出すとき、視覚教材を使った方がよいということに容易にわかります。第二次世界大戦以来、視覚教材の使用がいちじるしく促進されていることが目についています。いろいろな報告によると、視覚教材を使うと兵隊を訓練するのに要する時間が三割から四割短くなることがわかっています。その道の権威者の中には、通常の人が物を覚えるのに八割五分から九割までは目によると言っている人があります。私たちは「あなたのお顔は覚えていますが、お名前はねえ（思い出せません）」という言葉度を度々耳にします。これは視覚による印象の方が聴覚による印象より

りも一層長つずきをするという証拠でもあります。福音について学ぶことが山ほどあり、また私たちの生活を豊かにすることもたくさんありますから、私たちは扶助協会のクラスの指導者として、今日の前にある最も早いまた最も長つずきのする教え方を進んでとり入れなくてはなりません。

視覚教材を使うとずっと早く物を覚えるわけは以前に出版された「扶助協会誌」の中ですでに語りましたが、今度始めてクラスの先生になる多くの方々のために、こどもう一度おさらいをしてみるのもよいと思います。視覚教材は、一、興味をよび起します。二、注意を集中させます。三、考えることを刺激します。四、要点をはっきりとさせます。五、印象を持続する助けになります。六、想像力を刺激します。七、いろいろな経験の思い出させます。八、時間の節約になります。九、生徒に活動（智的活動のこと）を与えます。十、視覚教材はほかの方法の補いとなり、またほかの方法の効果を高めます。

私たちが選んで用いることのできる教材はたくさんありますが、扶助協会で利用のできる最も適当

な教授用の道具といえは、

一、黒板であります。黒板といえはどこにでもある安価な教材でありますが、ひじょうに利用面の多い教材であります。私たちのワイド部の教室にはつくりつけの黒板がたいてい備えてあります。また枠の上にのせることのできる、もち運びのできる黒板もあります。私たちは黒板を使って物の「りんかく」を示し、討論をしている間生徒たちの前に疑問または問題を書いておくことができ、考えの説明に役立つ略図を示し、黒板の上に書いたものに考えを集中させることによって興味を集め、レッスンの総括を行い、そのほか多くの目的に使うことができます。クラスの指導者は教えるときに、いつも黒板を利用し、一つのレッスンに、少くとも一つのことばは黒板を使って教えるようにしよう。

二、系図（平面の地図、模型地図、地球儀など）。いろいろの地図は、歴史に関する状況を知るのに大切な道具であります。地図は今年の神学と文学を勉強するとき、特に大切になるにちがいありません。インデペンデンス、ミズーリ、予言されたシオンの中心地などの位置をほかの地方と関聯して示して

いるアメリカ合衆国の地図は、神学の第四十一課と四十二課を教えるときに役立つであります。また同じ地図を使ってニューヨークからミズーリへ教会が移動していった様子を示すのに使うこともできるでしょう。

三、絵画（写真、絵、マンガ、図、新聞、雑誌、書籍などからとったもの）を目で見ることの代りをするよい代用物であります。絵画はレッスンで教えるものを生々たさせ、明瞭にし、また注意をそれに集中させます。教える道具に使う絵画は芸術的で色彩に富んでおり、高級であって、こまかいところまで正確に出ていなくてはいけません。普通絵画は高価でなくて手に入れやすく、たくさん考えを説明するのに使うことができます。エブラハム・リンカーンのあのしわのよった物思いに沈んでいる肖像面を見るとき、アメリカ合衆国を分裂させないで一つの共和国にしておく苦闘が浮んできます。食料品や家庭用品の絵は、私たちの注意とお金とをひきよせるための品物の広告に私たちの目をひきつけます。今年度の文字のレッスンに使う絵画の一式は今用意

しているところです。それはレッスンのときに習う各著者の大きな写真と、ソローのレッスンに出てくるワルデン池の版画とモビー・ディックのレッスンに使う「さし絵」とからできています。

エブラハム・リンカーンのレッスンは、学校や町の図書館でリンカーンに関する展示会が行われる二月に教わるでしょう。そのとき雑誌や新聞に出てくるもっと多くの教材も注意して集めて下さい。四、図表。図表はそれがたった一つのものであっても、みな永久性と持ち運びのできる性質があるので大へん便利な視覚教材であります。前以って図表をつくっておくと、教授の時間を節約することができ、また考えを表にして示したり総括を示したりするときには有効であります。大切な基礎の言葉や考えなどが書いてある「カードに印刷した図表」を、うしろに支えのある厚紙製の画架にのせて見せるなら、グループの討論を進めるのに役立ちます。図表はすべて簡単に全部のものをせよと。一枚の紙に全部のことをせよと。一つはいいけません。あなたのつくった図表を読んでもらいたいなら、それが

簡単で要領を得ており、大切な点だけを説明しているものであることを忘れてはいけません。いろいろな図表は今年度の社会科学を勉強するとき役に立つことがわかるでしょう。

四、掲示板各ワード部（支部）の扶助協会は一つのこらず掲示板をもつて、誰かがこれをいつも人目につくように、またいつも新しい事項が掲示されているようにしておくことを勧めます。掲示板は奨励のためや広く知らせるための道具であるばかりでなく、教授や訓練にも大切な道具になることができます。扶助協会誌の代表者は、その雑誌のために数かぎりなく利用の方法を見つけて下さい。

五、ポスター。ポスターは商業広告にひろく利用されていますが、これと同じ原理は宗教教育にも採用することができま。ポスターの伝える言葉は一目ですぐにわかります。いろいろなポスターは、仕事会のレッスンと扶助協会誌の奨励に役立つことでありましよう。六、フラノボード。フラノボードは、物語りをするとときに一番重要な教育道具であると認められてい

ます。フラノボードの価値は、使用される絵画の質とそれを使う人の上手へたによつてきまります。フラノボードは普通二フィートと三フィートくらい四角な板で、その上がフランネルで被つてあります。そして裏にフランネルのきれをはりつけた画を、必要に応じて、板を被っているフランネルの上にくっつけるのであります。一つ一つの絵は人や物や景色の切り抜きであつて、これを動かして物語が強調しようとしていゝる要点を説明するのであります。

フラノボードは人や物や景色に動きを与えるので見てゐる人の注意をいぢるしくひきます。フラノボードによる演出はいつも簡単であること、フラノボードはいつもごたつていないこと、あまり多くの人物を出さないこと、以上は忘れてならないことであります。フラノボードは今年の仕事会のレッスンで有効に使うことができますでしよう。

このほか、もっと値段がはるけれども手に入るならひじょうに役に立つと申し上げることもできる教材は映画フィルム、スライド、実物影写器、レコーダーなどです。しかし、万能と言える視

覚教材は一つもないことを覚えていて下さい。いろいろ情況がちがうに従つていろいろちがった視覚教材が必要になります。先生になる人が最も良い判断を下して使うべき視覚教材をきめるはずであります。ある時には、映画が一番その時に適しているかも知れませんが、また別の時には図表かフラノボードが一番その時に有効でありましよう。あるとくべつなレッスンに使うために選んだ各々の視覚教材は、そのレッスンのもつ目的が全うされるために直接役に立たなくてはなりません。

工夫に富んだクラスの先生は自分の使う教材を早いところ集めて分類し始めるでしよう。レッスンの予告が出るや否や、その先生は自分の教授計画の内容を豊かにするこれらの視覚教材に目をくぼるべきであります。その先生は自分の教材についてもつとて考え、組織立て、準備をするために一つ一つのレッスンが出るとすぐにこれを読むべきであります。ワード（支部）のクラスの指導者は、指導者会で、自分の教材がレッスンに適當しているかどうかをステッキ部（地方部）の指導者に相談すべきであります。支部のクラスの指導

者は、指導者の席上でほかの支部のクラスの指導者からいろいろよい考えを聞くこともできるでしょう。

忘れてはならないこと。視覚教材はなるほど有効な補足作用をするものであるけれども、けっしてこれだけで良い教授をすることはできません。視覚教材は「教授の助け」になるだけで、目的を達するためのものであり、見るだけでは、視覚教材自身に語らせることを期待して、自分がよりかかるための「松葉杖」として視覚教材を使っている先生がいつも多すぎます。このような状態では視覚教材は何の価値もありません。視覚教材それ自身には何の教える力もありません。彼らは教える方法の一部分にすぎないのであります。その教え方を巧みに統合して一本にしたとき始めて、視覚教材はすべての熱心な理解力のある「扶助協会のクラスの指導者」が自分の生徒たちに覚えさせたいと思っていることに、熱心と生気と長くつづく性質とを与えるのであります。

練習の讃美歌

百六十六番 真理胸に照り

マタイ伝の中に主は、「人をさばくな。自分がさばかれないためである。あなたがたがさばくそのさばきで、自分もさばかれ、あなたの量るそのはかりで、自分にも量りあたえられるであらう。

なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。自分の目には梁があるのに、どうして兄弟にむかって、あなたの目からちりを取らせて下さい、といえようか。偽善者よまず自分の目から梁を取りのけるがよい。そうすれば、はつきりみえるようになって、兄弟の目からちりを取りのけることが出来るだろう」。(マタイ七章一節―六節) 私たちのもっている欠点の中の一つの大きなもの、それは自分の欠点には、すっぱりとおおいをかけて、他人のことをとやかく非難することで、これを主はかたくいましめられているのです。百六十六番の歌詞を読む時、深い反省の念にかられます。主の導きをいただけるよう、心からへりくだって歌いましょう。ゆっくり歌って下さい。まず一段の第一小節のところに八分音符が二つありますが、とかく附点八分音符にしがちですから(つまり二段目の出だしのよう

に) 気をつけて下さい。第三小節の「ふくいん」のところも同様に気をつけましょう。二段目は第一と第三小節が附点八分音符と十六分音符になっていますね。三段目は一段とよく似てますが第三小節と第四小節の音の長さが一段目とちがってますから注意して下さい。四段の第三小節はシンコペーションになっています。

メロデーは、あまり高音を使ってありませんから歌いやすいと思いますが、以上の点に気をつけて歌って下さい。

四段まで二部で歌って、後の二段は四部になっています。各パートともナチュラルやフラットのところを正確に歌えるよう練習して下さい。

指揮は三拍子の三拍から振りますが、入る時サインすることをわすれないで下さい。折返しのコラスのところは祈るような気持で歌いましょう
十月 九番
子らは歌う

日曜学校の歌十八番

この歌は讃美歌五番と同じメロディーです。

簡単な歌で覚えてしまえば何でもないので、一段、二段と四段の第三小節の音の開き(ミとラ)がとりにくいですからよく練習して下さい。

十月 二九番

GOSPEL IN ENGLISH (Eigo no Fukuin)

(A) Course.

1. A little girl was desperately ill.

Aru chiisana onna no ko ga zetsubōteki ni byōki deshita (kitoku no jōtai ni natte imashita).

2. She needed a special matching blood transfusion to save her life.

Kono ko wa, sono inochi wo sukū tame ni tokuni tsuriai no toreta chi de (onaji ketsueki gata no chi de) yuketsu wo suru hitsuyō ga arimashita.

3. Her only available relative was a brother, so her doctors asked him if he would give his blood so that she might live.

Kono ko no, tada hitori no yaku ni tatsu miyori wa sono niisan desita. Sorede oishasama tachi wa, sono otoko no ko ni, imōto ga ikiru tame ni kimi no chi wo kure naika to iimashita.

4. With no hesitation, the boy answered "Sure!"

Sono otoko no ko wa sukoshimo tamerawazu ni "Iitomo" to kotae mashita.

5. The blood matched, the transfusion was given, and the little girl was recovering when the brother softly asked her doctor, "Now, Sir, when will I die?"

Sono ketsueki ga (umaku) tsuriatte, yuketsu ga (buji ni) okonaware, sono chiisana onna no ko ga kaifuku ni mukatte imasu to sono otoko no ko (niisan) ga oishasama ni sotto tazune mashita, "Nē, Sensei, boku wa itsu shinu no?"

6. It took only a moment for the doctor to realize that the brother

had thought that giving some blood to his sister would kill him.

Sono otoko no ko (niisan) wa, imōto ni chi wo yaru to jibun wa shinu to omotte ita noda, to yūkoto wo oishasama ga satoru ni wa, wazuka na jikan shika kakari masen deshita.

7. Yet he had not hesitated.

Soredemo, sono otoko no ko wa tamemerawa nakatta nodesu.

8. Few acts of courage seem exciting or are rewarded with medals.

Hito wo kōfun saseru yōsu wo shite itari, metaru wo hōbi ni morattari suru yūki no aru okonai wa wazuka shika arimasen.

9. Many of them are done quietly each day by what we call “ordinary” boys and girls.

Ōku no yūki aru okonai wa, iwayuru “heibon” na otoko no ko ya onna no ko tachi ni yotte, ichinichi ichinichi shizukani okonawarete imasu.

10. Sometimes they are hardly noticed, yet they scatter shining moments through our lives.

Korera no (yūkiaru) okonai wa, hotondo (hitoni) kizukarenai koto mo arimasu ga, soredemo watakushi tachi no seikatsu no itarutokoro ni, patto kagayaku shunkan wo tenzai sasete (makichirashite) iru no desu.

(Vocabulary)

desperately (tote mo ikiru mikomi ga nai, mō dameda)

transfusion (sosogikomukoto, chi wo)

matching (tsuriatte iru, ketsueki no seishitsu ga)

available (yakunitatsu, tsukau kotoga dekiru)

so that……might (ga dekiruyō ni)

GOSPEL IN ENGLISH (Eigo no Fukuin)

(B) Course.

1. **Jesus taught that an unsallied character is the noblest aim in life.**

Kegare no nai (Kiyoi) seikaku (wo motomeru no) ga jinsei ni okeru mottomo kōki na (takaku tōtoi) mokuhyō de aru, to Iesu wa o-oshie ni nari mashita.

2. **No man can sincerely resolve to apply to his daily life the teachings of Jesus of Nazareth without sensing a change in his own nature.**

Jibun no seishitsu ni aru henka (ga okotta koto) wo kanjinai de, Nazare no Iesu no oshie wo mainichi no seikatsu de jikkō shiyō to, kokoro kara ketsui suru kotowa nanbito nimo (tare nimo) deki-masen.

3. **The phrase "born again," has a deeper significance than many people attach to it.**

"Atarashiku umareru," toyū seiku (seisho no kotoba) wa, ōku no hitobito ga soreni fuzoku sasete iru (motasete iru) yori motto fukai imiga arimasu.

4. **This changed feeling may be indescribable, but it is real.**

Kono kawatta toyū kanjiwa, ii arawasu koto no dekinai mono kamo shiremasen. Shikashi sorewa genjitsu (jissai ni sonzai shite-iru koto) de arimasu.

5. **Happy the person who has truly sensed the uplifting, transforming power that comes from this nearness to the Savior, this kinship to the Living Christ.**

Sukinushi to jibun tono kono shitashii kankei, (sunawachi) ikeru Kirisuto to no kono ketsuzoku kankei (Kirisuto wa watakushitachi no rei no chōkei……Chichi naru Kami kara saisho ni o-umare ni natta kata……de aru) ni motozuku, reisei wo takame, kokoro wo sukkari kaeru chikara wo hontō ni kanjita hito wa makoto ni saiwai de aru.

6. Resistance is necessary along with obtaining a sense of the real divinity.

Makoto no shinsei (gutaiteki no Kami ga ikite mashimasu koto) no konji wo urukoto to tomo ni teikō (yūwaku ni taisuro teikō) ga hitsuyō desu.

7. There should be developed also the power of self-masterly.

Kokki-jisei no chikara mo mata dete konaku tewa narimasen.

(Vocabulary)

1. unsallied — sally (kegasu, kizutsukeru)
2. sensing — sense (kanziru, ryōkaisuru)
3. attach (tsukeru, shozokusaseru)
4. indescribable — describe (noberu, egaku)
5. happy the person (…no gotoki hito wa saiwainaru kana)
6. divinity (shinsei, kami no seishitsu)
7. develope (hattatsusuru, arawareru)

Self-masterly (kokki jisei)

Self-government (jichi)

Self-examination (hansei)

Self-possession (reisei chinchaku)

公 告

宗教法人「末日聖徒イエス・キリスト教会」東京東支部は、昭和三十七年七月一日より、東京都江戸川区小岩町四一七五〇、に開設されましたから、此段公告いたします。

宗教法人「末日聖徒イエス・キリスト教会」 代表役員 ポール・シー・アンドラス

編 集 後 記

七月×日、原稿の集りが悪いが割りつけを開始、梅雨がもうじき開けそうで、しきりに雷雨がある。

七月×日、印刷屋に入工、一週間で初校正。この間に、七月十日、アンドラス伝道部長の謝恩歓送会が開かれる。この日建築委員会の役員も到着されいよいよ教会堂建築が軌道にのるはこびとなった。七月十二日、新伝道部長アンダーセン長老来日される。七月十七日、アンドラス長老に、多くの兄弟姉妹の協力に

より記念品の贈呈、兄弟に、ハオリ、ハカマ姉妹に振袖。七月十九日、アンドラス長老御一家帰国される。東京の会員たち百数十人が貸切りバスで羽田空港まで見送る。

七月×日、再校を渡す。あとは製本されてくるのを待つばかり、もうすっかり暑くなつて連日、本年最高の気温と発表される。毎年このころになると、どこの支部でもキャンプが計画されます。キャンプの楽しい記事を速達で、八月十日までに編集部まで送って下さい。
(小林)

月刊「聖徒の道」第六巻第八号

一九六二年八月一日発行

実価 一カ年 六〇〇円

半カ年 三〇〇円

一部 五十円

編集兼
発行人
ポール・C・アンドラス

発行所
東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

教義と聖約	
高価なる真珠 モルモン経	上質革製合本……………1 1 0 0 円
教義と聖約	
高価なる真珠 モルモン経	合本……………3 0 0 円
モルモン経 (新訳)	……………2 0 0 円
信仰箇条の研究	……………3 3 0 円
モルモンとは? (新版)	……………1 5 0 円
完成への道	……………2 0 0 円
初等協会教科書	……………1 5 0 円
総合聖句の手引	……………1 5 0 円
日本系図探究要覧	……………1 0 0 円
アロン神権者用学科課程	……………1 5 0 円
メルケゼデク神権、教師と生徒用 「モルモン経の読み方の手引」	……………2 0 0 円
ナザレのイエス	……………1 0 0 円
正しい日本史	……………1 0 0 円
家督権の祝福	……………1 0 0 円
扶助協会手引	……………5 0 円
求道者教育法	……………1 2 0 円

日曜学校用

宗教と生活Ⅱ	……………1 5 0 円
回復された神の教会	……………1 0 0 円
福音の実践	……………1 5 0 円
聖典中の指導者	……………1 5 0 円
我等の標準聖典	……………2 0 0 円
古代の使徒	……………1 5 0 円
福音の紹介	……………2 0 0 円
シオン山の救い手たち	……………2 0 0 円
教義と聖約の教え	……………2 0 0 円

M I A 用

生活の目標	……………1 5 0 円
モルモン経研究ガイド	……………1 0 0 円
MIA・エンサイン・ローレルの手引	……………1 5 0 円
演説が上手になる法	……………1 5 0 円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌 (新版)	……………4 0 0 円
子等は歌う	……………1 0 0 円
レクリエーション歌集	……………4 0 0 円

……………注文は各支部長へ……………

支部所在地

北海道地方部

旭川 旭川市八条五丁目
MIA集会場 旭川公会堂

室蘭 室蘭市幸町八九
電話(七〇五四)

小樽 小樽市富岡町一ノ三五
電話(二一八二二四)

札幌 札幌市北二条西二四丁目

東中央地方部

群馬 高崎市並榎町二七五

甲府 甲府市山田町六三

松本 松本市同心町六一二

新潟 新潟市中大畑町五五七 金井方
電話(二一八六六〇)

仙台 仙台市光禪寺通り二八
電話(五一〇八九七)

東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四
電話(四〇八一三三〇七)

東京北 東京都豊島区高田本町二ノ一四八七
集会場 日曜学校 武蔵野ドレメ
MIA 徳川生物研究所

東京東支部 東京都江戸川区小岩町四一七五〇

東京南 東京都大田区南千束町二四九
電話(七八二一六一三)

東京西 東京都港区青山北町六ノ三四
電話(四〇二一四〇一〇)

山形 山形市八日市八五〇

横浜 横浜市港北区篠原町二九
電話(四九一八七七二)

西中央地方部

阿倍野 大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八

福岡 福岡市東葉院二ノ四〇

広島 広島市古田町古江四〇〇ノ三
電話(三一六一二五)

金沢 金沢市成瀬町二ノ四 野田方
集会場 農業センター

京都 京都市左京区松ヶ崎桜木町一四

名古屋 名古屋市中昭和区北山町三ノ四一
電話(七三二四二一〇)

西宮 兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四
電話(五一〇四二一)

岡崎 大阪府豊中市岡町北二ノ一八

岡崎 岡山市浜字下六ノ坪五五三ノ四

三宮 神戸市灘区篠原本町四ノ三五
電話(八六一二六〇二)

柳井 山口県柳井市今市三九一

沖縄地方部

普天間 沖縄宜野湾村野嵩区三二八

那覇 沖縄那覇市松尾区一三九